

FREE | Bilingual magazine - English and Japanese



NICHIGO PRESS

オーストラリアの日本語総合誌 日豪プレス Since 1977  
nichigopress.jp Vol.46 No.533

MAR & APR 2023

日豪で活躍する輝く女性たち

【対談】デボラ・ヘーゼルトンさん (豪日経済委員会副会長)

Travel experience in Japan GIFU

年を取っても健康体でいたいですよね!?  
100歳になっても元気であるために  
重要なのが血管の健康です。  
血管が狭くなってしまうと  
血圧が上がってしまうので  
要注意です!



## 高血圧が 「死神からの招待状」 と呼ばれるのはなぜ?

高血圧が「死神からの招待状」や「沈黙の殺人者」などと呼ばれる理由は、【健康寿命】を脅かす心血管疾患の原因となるためです。

心血管疾患による死亡の約50%は、120/80 mmHgを超える血圧が原因であると推定され、EPOCH-JAPANは、120/80 mmHgを超える血圧レベルは、心血管疾患による死亡の50%、脳卒中による死亡の52%、冠動脈疾患による死亡の59%に繋がっていると公表しています。

心筋梗塞 狭心症 脳卒中 慢性腎臓病 網膜症

## コレステロールは 血圧を高める主な原因

血管が狭くなると血圧はどうなる?

✓血圧は高くなる!

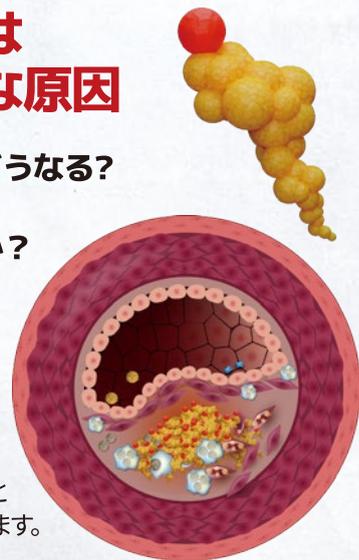
血管を狭くする原因は何か?

✓コレステロールの蓄積

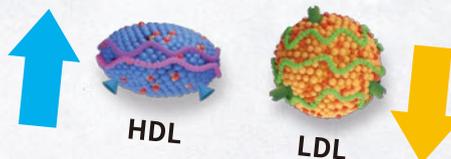
コレステロールは血管内膜に蓄積して血圧を高める主な原因となります。

コレステロールキャリアのLDLが血管内膜にコレステロールを積みとプラークが作られ、血管は狭くなります。

血液は狭い血管をより強い圧力で通過しなければならず結果、血圧が上がるのです。



血管健康のために  
LDLを下げてHDLを上げ、  
L/H比を意識しよう!



コレステロールキャリアHDLは「コレステロールの清掃隊」とも呼ばれる優れたもの。周辺組織で使用し、残ったコレステロールや血管内膜に蓄積されたコレステロールを肝臓に戻したり、体外に排出してくれます。コレステロールが蓄積して狭く硬くなった血管を清掃することで、血管を通過する血液の圧力を減らすことができます。心血管疾患を予防するためには、LDLコレステロールとHDLコレステロールのそれぞれを管理するのではなく、2つのバランスが非常に重要だと言えます。

100歳になっても  
健康に自信が持てるように  
LDL数値とHDL数値を  
管理しましょう!

## レイデル ポリコサノール

世界各国でコレステロール値改善機能が承認されたキューバ産ポリコサノール

キューバの主農産物であるサトウキビから抽出した成分であるポリコサノールのコレステロール値改善機能が、世界的に認められホットな話題となっています。キューバ産ポリコサノールはサトウキビの葉と茎のワックスから8種類の高級脂肪アルコールを抽出精算して作る機能性原料であり、1996年に世界知的財産権機構(WIPO)から「コレステロール低下剤」として発明部門で金メダルを授与、各国の機関から以下の承認を得ています。

- 2001年 オーストラリアTGA登録
- 2006年 韓国KFDA「コレステロール調節」機能性獲得
- 2019年 韓国KFDA「血圧調節」機能性獲得
- 2019年 日本消費者庁 機能性表示食品届出受理

### AUSTRALIA



raydel.com.au

- ✓ コレステロール値を健康に保つのに役立つ
- ✓ 血中脂質レベルを健康に保つのに役立つ (ポリコサノール 10mg /日)



オーストラリア国内配送 購入ページ ▲

Enquiries in English: info@raydel.com.au



### JAPAN

- ✓ 総コレステロールを下げる
- ✓ LDL(悪玉)コレステロールを下げる
- ✓ LDL(悪玉)コレステロールとHDL(善玉)コレステロールの比率を改善する (ポリコサノール 10mg /日)

raydel.co.jp



日本国内配送 購入ページ ▲

日本語でのお問い合わせは: shop@raydel.co.jp

## RAYDEL

### Policosanol 10

Sugar cane wax alcohols 10mg per tablet  
Film-coated tablets

- Helps support healthy cholesterol
- Helps in the maintenance of healthy blood lipids

#### Cuban Active Ingredient

Directions for use: Take 1 tablet daily orally.  
30 TABLETS

AUST L 283838

### KOREA



- ✓ 血中コレステロール値の改善に役立つ (ポリコサノール 5~20mg /日)
- ✓ 血圧をコントロールするのに役立つ (ポリコサノール 20mg /日)



- 5 GIFT FROM AUS
- 6 **日豪で活躍する輝く女性たち2023**
- 10 コミュニティ・ニュース
- 12 日本語学校「みんなの将来の夢、聞かせて下さい!」
- 13 KINOKUNIYA「最新BOOKSトレンド・チェック」
- 14 オーストラリア不動産の現状
- 15 日豪プレス法律相談室
- 16 **【第19回】最先端ビジネス対談  
豪日経済委員会副会長・デボラ・ヘーゼルトンさん**
- 20 豪州ビザ最新事情
- 21 NSW州立美術館ボランティアガイド便り/福島先生の教育指導
- 22 花のある生活
- 23 日豪フットボール新時代/豪州ラグビー通信
- 24 Go! ワラビーズin Japan/タスマニア巡り
- 25 マーベラス・メルボルン
- 26 出倉秀男の日本料理と歩んだ豪州滞在記
- 27 きもの日和
- 28 Travel experience in Japan GIFU
- 33 Japanese Culture Snippets

- 今月の表紙 -



今月は、3月8日の「国際女性デー」にちなんで巻頭で「日豪で活躍する輝く女性たち」を特集。本誌連載コラム「きもの日和」の岡部サラさんより写真を提供して頂いた。モダンかつ華やかなスタイリングが印象的な和洋折衷の美しい着物姿の女性。同ショットは、メルボルンで撮影されたものだ。

Cover Photo=Wardrobe: Kazari + Ziguzagu W: kazari.com.au,  
Stylist: Sala Okabe W: salaokabe.com, Photographer: Rina Kakioka  
W: rinasmilephotography.com, Model: Akane Instagram: @qqq\_akane

## NICHIGO PRESS オンライン版、完全リニューアル!

「NICHIGO PRESS ONLINE」が、レスポンシブ・デザインに生まれ変わるなど大幅リニューアルを果たした。旧サイトではプリント版の記事転載がメインだったが、オンライン・プラットフォームの特性を生かしたウェブ限定特集や連載コラムが続々スタート。オーストラリアのニュースや生活情報など最新情報に加え、クラシファイド・ページでは、ユーザー同士が交流できる場を提供。ぜひアクセスしてご覧頂ければ幸いです。プリント版では、これまで以上に「取っておきたい」「何度でも読み返したくなる」深みのあるコンテンツづくりに注力していく所存。お楽しみに。



nichigopress.jp



### <NICHIGO PRESS ONLINEで掲載中のトピックス>

#### 【特集/インタビュー】

<https://nichigopress.jp/topics/feature-interview>

求人や習い事、ビザなど生活情報の特集や、各分野で活躍する著名人・スペシャリストへのインタビュー、座談会などその内容は多岐にわたる。

#### 【コミュニティ】

<https://nichigopress.jp/topics/community>

オーストラリア各地で行われるイベントや、スポーツなど大会で活躍する日本人に関するニュースなどをお届け。

#### 【オーストラリアでの暮らし】

<https://nichigopress.jp/topics/living-in-australia>

オーストラリア在住の著者が、お勧めスポットやライフスタイルなど、バラエティーに富んだ内容でコラムやエッセイを連載中。

#### 【コラム】

<https://nichigopress.jp/topics/column>

書道家や写真家などアーティストの作品を始め、バレエ・ダンサーの日常や、教育の専門家、秘書などによるコラムをお届け。

#### 【クラシファイド】

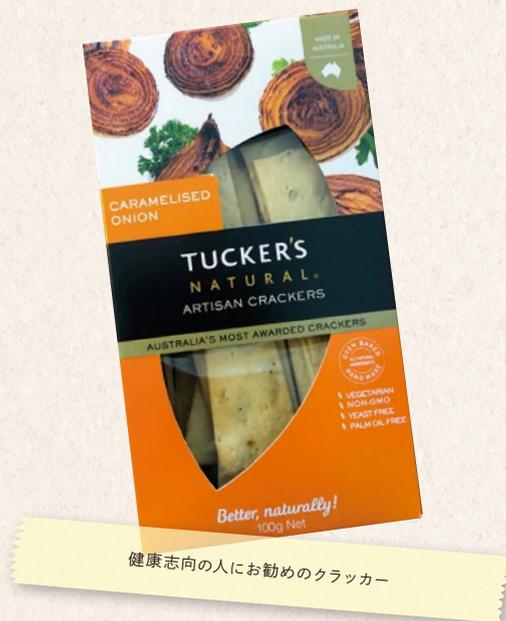
<https://nichigopress.jp/classified/work>

ユーザー同士が交流できる場を提供。無料で利用可能な求人・物件情報に加え、物の売り買い、サークル募集など生活に欠かせない情報が毎日多数掲載されている。



在豪歴の長さにかかわらず、オーストラリアから日本に帰国する際、家族や友人へのお土産選びに悩む人は多いのでは？ オーストラリアのお土産にぴったりなお薦めアイテムを日豪プレスのスタッフが厳選し紹介！

## Tucker's Natural Gourmet Cracker



健康志向の人にお勧めのクラッカー

オーストラリアのスーパーマーケットで購入できるクラッカーの種類はたくさんある。しかし、ほとんど健康にこだわったクラッカーはほとんど存在しない。今回紹介する、「Tucker's Natural」のクラッカーは、遺伝子組み換え穀物や、人工由来の保存料、MSG（うま味調味料）を使用することなく開発され、味や香りについても配慮された物だ。そしてオーストラリアの食材を使い、国内で製造されている。

Tucker's Naturalシリーズは、サムとシンディーのタッカー夫妻によって2007年に南オーストラリア州で発売された。2人は共にスポーツ愛好家で、健康に強い関心を持っていたため、食生活の中で自然かつ健康的な物を取り入れたいと考えた。そこで、遺伝子組み換え作物を使わず、人工保存料、香料、着色料不使用、イースト、大豆、MSG不使用のクラッカーを開発。当時の市場で、健康的なクラッカーへの需要があると感じた夫妻はビジネスを立ち上げた。家族経営で始まった同ブランドは、現在も変わらぬ理念のもと、オーストラリア各所で手に入る人気のクラッカーとなった。

現在では味や商品のバリエーションも広がり、グルテンフリーや、ベジタリアンでも楽しむことができるクラッカーが発売されている。そのまま食べてもオーブンで焼いてもおいしく味わうことができる。どんな時でも手軽に空腹を満たしてくれる、健康にやさしいクラッカーをお土産にしてみよう。

(文=阿部慶太郎)

nichigopress.jp

## オンライン版で特集が続々登場。この機会をお見逃しなく！

月間7万人以上が訪問する豪州最大級の日系オンライン・メディア「Nichigo Press」(Online)では、毎月さまざまな特集を企画しています。オーストラリアでビジネスを展開している皆様、日本国内のオーストラリア関心層にもしっかりリーチするオンライン特集をぜひご活用ください。



<サンプル1: 求人特集>

PR

現地ですぐ稼げる / 求人特集

オーストラリアで働きたい!

オーストラリアで仕事探し！イチオシ求人特集 就職からアルバイト、治療まで現地で稼げる求人情報

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、多くの日本人がオーストラリアから日本へと帰国してしまっ

<サンプル2: 習い事特集>

新しいスキルを Get! オーストラリアで学ぶ

習い事特集

思い立った今がチャンス!

時代が激しく変わる中、子どもから大人まで、新たな“学び”を求めている人は多いのでは？本特集では、語学や子ども教育、文化体験など、オーストラリア在住の方に向けて、対面式やオンライン講座を行っている「習い事」を随時ご紹介していく。新しいことを始めるなら思い立った今がチャンス！あなたにぴったりのレッスンを見つけよう。

貴社のプロモーションにぜひ日豪プレスをご活用下さい。お問い合わせはnpsales@nichigo.com.au (セールス・マーケティングチーム) までお気軽にどうぞ



# 日豪で活躍する 輝く女性たち

## 2023

3月8日は、すばらしい役割を担ってきた女性たちによってもたらされた  
勇気と決断を称える日「国際女性デー」。近年、さまざまな分野でグロー  
バルに活躍する女性たちが増えている。本特集では、主にオーストラリア  
を舞台に活動している日本人女性にフォーカス。それぞれのフィールドで活  
躍する8人に「自分らしいキャリアの実現」について頂いたコメントを紹介  
する。次ページのインタビューでは、サイコロジストの桜井多恵子さん、カ  
フェ・オーナー・シェフの石黒アンナさんにご登場頂き、話を伺った。

自分らしいキャリアに  
踏み出したきっかけや  
原動力は何ですか



日本政府観光局 (JNTO) シドニー事務所長  
田中陽子さん

多くの外国人に日本の幅広い魅力を知って頂き、  
日本ファンを増やしたい。

### Profile

Yoko Tanaka●アメリカの大学を卒業後、JNTOに  
入局。以来、訪日旅行 (インバウンド) 一筋。海外動  
務はシンガポール事務所でもレーシア市場に向けた  
プロモーション及びクアラルンプール事務所設立準備  
を担当。2019年から現職。オーストラリア全域及び  
ニュージーランド市場を管轄。プライベートでは2人  
の娘の母

HANANINGEN Artist  
今野ゆかさん

花や植物、人間が持つ無限の可能性を表現する「花人間」。  
その奇跡のような瞬間をもっと多く生み出していきたい。



### Profile

Yuka Konno●2019年シドニーで「HANANINGEN  
Sydney」をオープン。ハーストビルにスタジオを  
構える。フローリスト、メイク、カメラ全てを1人  
でこなす撮影。21年にQLD州とVIC州で「Pop-  
Up HANANINGEN」撮影会を開催。22年「NSW  
Studio Florist Award Winner」に選ばれ数々の現  
地メディアに掲載される。現在はアーティストとして  
活動する傍ら、3児の母として育児と仕事をこなす



Happy Hoopy Life Entertainment Owner & Creative Director  
シホ・スパークル・フーパーさん

多忙な日々の中、好きなことをして生きていこうと決心。  
大好きなフラフープで笑顔とハッピーを届けたい。

### Profile

Shiho Sparkle Hooper●アメリカの大学院を卒業  
後、世界一周旅行時に出合ったフラフープに魅了さ  
れ来豪。2011年からフラフープを始め、現在プロ・パ  
フォーマーとして活躍。ケロッグやセントラムのCMや、  
州政府が主催する「NOEL Sydney」「Elevate」など  
のショーに出演。南極に向かう船に12年から7シーズ  
ン乗船するなど、グローバルに幅広く活動中



シドニー・チャリーディング「SPRINGS」コーチ  
野元理香さん

チャリーダーたちにとって家族のような場所をつくり、感謝の気持ちや豊かな人生を歩む力を育てたい

Profile

Rika Nomoto●関西外国語大学在学中、全日本チャリーディング選手権大会で準優勝。新卒でパナソニック株式会社に入社。人財育成に従事しながらクラブ・チームに所属し、協会公認指導員としても活動。在職中に得た人材育成の知識を深めるため退職後に保育士資格を取得し2014年に夫のPhD取得のため来豪。シドニー・チャリーディング「SPRINGS」を立ち上げ3年連続で全豪優勝に導いた

Kimono Stylist  
岡部サラさん

大切な人生の節目を和服で迎えられてよかった、と思われるような仕事をしていきたい。



Profile

Sala Okabe●静岡県浜松市出身。2005年に夫婦でオーストラリアへ移住。その後2児を出産。14年にフリーランスの着物スタイリストとして着付けのビジネスをスタート。着付けを始め、スタイリング、着物レンタル及び販売を手掛け、Instagramなどで新しい着物スタイルの提案や海外で着物を楽しむアイデアを紹介している (Instagram: @kimono\_salaokabe)



MateFCコーチ/サッカー選手  
田中景子さん

サッカーを通してオーストラリアと日本の架け橋に。挑戦することの大切さ・楽しさを伝えていきたい。

Profile

Keiko Tanaka●10歳の時にサッカーを始め、U-19女子日本代表、ユニバーシアード代表に選ばれる。短大卒業後、日本の女子サッカー・トップリーグ(なでしこリーグ)で活躍。2020年に来豪し、シドニーのチームでプレー。サッカー選手のキャリアだけでなく、コーチ、日本食レストランのバイト、学生など、さまざまなことにチャレンジ。サッカーを通して、日豪両国はもちろん世界をつなぐことを夢みて活動中 (Instagram: @keimax5)

Style Gearパーソナル・トレーナー/メンター・コーチ  
野村麻衣さん

パフォーマンス能力を上げることで日常生活の質が好転。フィットネスを通して人生のクオリティー向上を発信。



Profile

Mai Nomura●20年以上にわたりフィットネスやスポーツ界でスタジオ・インストラクター、パーソナル・トレーナー、マネージャー、ヘッド・コーチなどを担当。2016年に「Personal Trainer of the Year」で日本人初NSW州1位、翌年も同賞を獲得。その後州のヘッド・コーチとしてのキャリアをメインに活動。19年に「Coach of the Year」でNSW州及び豪州全土で1位を獲得。現在、パーソナル・トレーナー兼メンター・コーチとして国内外のトレーナーの育成・指導も行っている



シドニー日本クラブ (JCS) 会長  
コステロ久恵さん

日系コミュニティの活性化、そして国際人として羽ばたく子どもたちの未来への可能性を広げていきたい。

Profile

Hisae Costello●自身の子どもがJCS日本語学校シティ校に入学したことをきっかけに、2008年からJCS日本語学校の運営に携わる。JCS日本語学校シティ校代表就任と同時にJCS専門理事となり、18年にJCS会長に就任し現在に至る。「Matsuri Japan Festival in Chatswood」の主催など、さまざまなイベントを開催して日本の魅力をアピールする活動を行っている

## 「心の声」を聴けば、あなたも もっとシンプルに生きられる！

Mind Body Living Counseling Service

### 桜井 多恵子さん

メルボルンを拠点に心理カウンセリングを行う「Mind Body Living Counseling Service」。さまざまな悩みに対して優しく丁寧にヒアリングし、解決に導いてくれる桜井多恵子さんに、サイコロジストとしてキャリアを形成した経緯やカウンセリングの特徴、サービスの強みなどについて、話を伺った。

サクライ・タエコ

在豪約40年。社会人経験を積んだ後一念発起してシドニー大学及びスインバン工科大学で心理学を学び、卒業後サイコロジストの資格を取得。国際フォーカシング研究所認定トレーナー、オーストラリア政府認定心理士。オーストラリアで2人の息子を育て上げるなど人生経験が豊富なため、安心して何でも相談できる。相談者の「心の声」に優しく耳を傾け、解決に導いてくれる

—メルボルンでサイコロジストとして活動を始めた経緯をお聞かせください。

私は家族の転勤に伴いメルボルンに来ました。1980年代当時の日本はオーストラリア旅行がブームになっており、旅行業界が非常に繁栄していた時期で、私はJTBでガイドやツアー・オペレーターの仕事をしていました。しかし、旅行業界は時間が不規則な上、将来的に不安定な業界なのではないかと思い、将来の安定を考えて何か資格を取って働こうと考えたのです。旅行業界でお客様のお世話をするのがとても楽しかったので人と関わる仕事をしたと思い、大学に行って心理学の資格を取り、サイコロジストとしてのキャリアをスタートさせました。

—カウンセリングの特徴やサービスの強みを教えてください。

異文化適応に関する悩みについては、私自身が体験していることなので強みと言えます。アイデンティティーの問題や、祖国を離れて生活することで起こる将来の不安、異国の地で子育てをしていくことの悩みなど、幅広く相談にのっています。カップルのリレーションシップ・カウンセリングや、妊活カウンセリングの需要も高まっています。私のカウンセリングの特徴をひとことで表すと「その人の身になって、問題の答えを導き出す手伝い」です。現代社会で生きてると、どうしても頭でっかちになりがちで、頭で考えて

も答えが出ず困っている人が多くいらっしゃいます。頭で考えると言葉を使った思考になりますが、

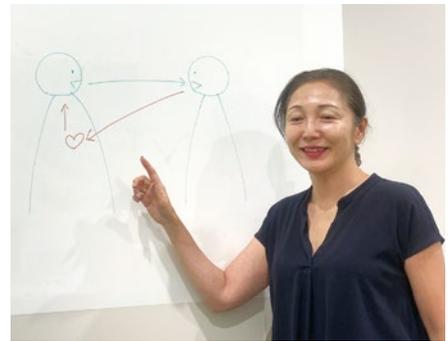
言葉で表せるものは、私たちが感じていることのほんの1部です。頭で考えても問題解決しない時、答えは「心」や「体」にあるのです。私は、クライアントが自身の心と体の様子に注意を払うことで、悩みを解決に導くサポートをさせて頂いています。

—「心の声を聴く」コツや、ストレスと上手に向き合いポジティブなマインドを保つためのアドバイスをお願いします。

「心の声を聴く」ことは、人間に本来備わっている本能的な能力の1つです。自身の心と体に注意を払い、自分が「今、ここ」で何を実感しているのかをきちんと感じていくだけです。自分の意識を「今、ここ」に集中させることができれば、ストレスを感じることはほとんどないでしょう。過去に起こったいやな出来事や、将来起こりうる不安なことを想像すると、ストレスを感じます。シンプルに「今、ここ」にフォーカスすれば、人生楽に生きられるはず。そうは言っても、毎日の生活にストレスになる出来事はつきものです。そんな時は、それをちょっと「棚上げ」して、深呼吸してみましょう。ストレスのスイッチをオフにする時間を設けることで、ポジティブなマインドを取り戻すことができます。

—「心の声を聴く」コツを学ぶ方法はありますか。

「心の声を聴く」というのは専門用語では「フォーカシング」と言います。私はアメリカに拠点を置く国際フォーカシング研究所の認定トレーナーの資格を持ち、これまで同所の機関を中心に、世界各国の方々にフォーカシング、つまり心の声の聴き方を教えて参りました。今年から日本人向けに日本語で発信しています。オンラインのワークショップを通して、毎月いろいろな方法で、「心の声を聴く」エクササイズを楽しく行っているので、「心の声を聴くためにはどうするのか、ちょっとのぞいてみよう」というくらい



「シンプルで楽に生きる方法」をワークショップで発信中

の軽い気持ちでどなたでもご参加頂けます。

また、本格的に「心の声を聴く」ことを学びたい方々のためのコースも7月から開講予定です。特に対人援助職、接客業、コーチングやヒーリングなどの悩み相談業の仕事に就いている人を対象に、いわゆる「傾聴」を極めるコースとなっています。それとは別に、「子育てママのための心の声を聴くワークショップ」も不定期で行っています。詳しくは下記ウェブサイトでお知らせしているので、そちらをご参照下さい。

—最後に、読者へのメッセージをお願いします。

「心の声を聴く」ことを広めていくのは、私のライフワークだと思っています。人間に本来備わっている大切な能力ですから、もっと多くの人にそれを活用してもらうことによって、毎日の暮らしをもっとシンプルに、楽に生きるサポートをしたいと願っています。オーストラリアで英語を使って生活していると、英語という言葉の特性上、自分の主張をしっかりと示さなくてはなりません。自分が何を考えているのか、どうしたいのか。皆さんも自分の「心の声」をしっかりと聴くことで、オーストラリアでの暮らしをよりいっそう楽しいものにしていきましょう。



対面はもちろんオンラインでもカウンセリングに対応

Mind Body Living Counseling Service  
●Tel: 0466-229-273 ●Email:  
mindbodyliving@hotmail.com ●  
Web: www.mindbodyliving.com/  
japanese





## 大切なのは“気持ち”の強さ 今後もビジネスに力を入れていきたい

JUAN Bowl & Tea

石黒 杏奈さん

インプロ・アナ

「JUAN Bowl & Tea」オーナー・シェフ。17歳で芸能事務所に所属し、歌や芝居、ラジオDJなどの仕事の傍ら、ウェブ・デザイナーとしてもキャリアを積む。来豪後、ローカルのレストランやカフェのキッチンで働き、2017年シドニー・レッドファーンに「JUAN Bowl & Tea」をオープン。18年12月から3か月、長野県白馬村で期間限定のレストラン「JUAN Wagyu Steakhouse」を営業

—これまでのキャリアを含め、シドニーでカフェ・レストランをオープンした経緯について伺えますか。

日本では、歌手として活動する傍ら、飲食店や独学で学んだウェブ・デザイン、コーディング、SEOなどの仕事をしていました。オーストラリアに移り住んで15年になります。7年程フリーのウェブ・デザイナーとして活動していましたが、フリーランスだと生活が安定しないので、日本で経験があったキッチンで働こうと思い、ローカルのケータリング会社、カフェ、バー、日本食レストランで3年程働きました。それから自分で店を開くことを考え始めました。

—JUAN Bowl & Teaの特長やサービスの強みを教えてください。

オーストラリアは専門店が少ないです。日本には専門店がたくさんあり、リピーターは、毎回同じ物を食べるに足を運びます。そういう店にしようと思い、井の専門店にしました。おいしさはもちろん、クオリティー・コントロールを重視し、メニューを最低限まで減らしました。オープン当初は8品ありましたが、それから5品になり、2018年からは4品しかありません。

オープン当初は私も常にキッチンに立っていましたが、今では私がいなくても毎回同じクオリティーの物をお客様に出すことができます。開店当初からこだわっているお茶のペアリングも今でも人気を博しています。井はお茶とも合



2歳の息子と昨年9月に産まれたばかりの娘との家族写真

いますし、ワインのように料理を更においしくしたり、パレット・クレンザーのように口の中を洗い流し、またひと口おいしく頂けたり、さまざまな組み合わせが可能なのでお勧めです。

—ホスピタリティーのプロとして、最も大切にしていること、心掛けていることは何ですか。

1番大事なことは、スタッフも含め皆がハッピーであることですね。昔は違いました。こだわりが強く、お客様に良いものを提供するのに必死で、スタッフにもとても厳しく接していましたが、最近は考え方が変わりました。スタッフがハッピーな環境で仕事をすれば、お客様にも思いが伝わりますしミスも少なくなります。

ホスピタリティー（おもてなし）をしているわけですから、やはりサービスの提供者である私たちが、楽しんで仕事をしなくてはなりません。スタッフに怒ることも今はなくなり、理由をしっかりと話して伝えるようになりました。良い仕事環境を作ることが、ホスピタリティーの経営者である私の仕事だと思います。それが自然とお客様へのサービスにつながるのです。良い仕事環境を作ることが、ホスピタリティーの経営者である私の仕事だと思います。それが自然とお客様へのサービスにつながるのです。

—自分らしいキャリアに踏み出したきっかけや、それを継続している原動力について伺えますか。

シドニーで店をオープンすると決めた当時、私は34歳でしたが、自分が女性であることや年齢を考え、将来結婚して出産するのであれば、やはり飲食店のキッチンでずっと働くのは不可能だと思い、経営者にならなければならないという思いがありました。ありがたいことにお客様がサポートして下さり、コロナ禍を乗り越えることができました。来店して下さるお客様の存在はとても大きいです。また、大きな変化は、2歳になる息子と4か月になる娘がいることです。今は子どもたちと店に出ていますし、私をサポートしてくれる主人がいることも、原動力となっています。

シドニー南東部レッドファーンに位置する「JUAN Bowl & Tea」は、2017年のオープン以来、人気絶えない井カフェ・レストランだ。さまざまな挑戦を続けているオーナー・シェフ石黒杏奈さんに、起業した経緯やホスピタリティーのプロとして心掛けていること、今後の展望などについて、話を伺った。



新たに立ち上げたブランド「Leona Chocolatier」

—最後に、今後の展望、及び読者へのメッセージをお願いします。

コロナ禍が明け、私の大好きな東京のミシュラン2つ星のフレンチ・レストランのプチフルールとして提供されているチョコレートをおーストラリアに仕入れることを始めました。3年近くシェフに話をして、ようやく実現しました。シェフから空輸でこちらに送ってもらい、私が最後のコーティングとパッケージングをして、「Leona Chocolatier」というブランドで販売しています。息子の名前“Leo”と私の“Anna”を合わせて商品名にしました。販売から半年程経ちましたが、入荷するとすぐに売り切れになり、とても人気です。今年からは、JUANでも提供・販売を開始しようと思っています。それから、JUANのメニューの冷凍食品の販売も始める予定で、スーパーなどで購入可能になります。これから益々ビジネスに力を入れていきたいです。

大切なのは“気持ち”の強さだと思います。どれだけ自分が動けるか。何をやるにしても人間、できないことはない。うまくいかないなら、どうしたらうまくいくか常に頭を柔軟にすること。しっかり芯を持って、真っすぐ進んでいけば必ずそこに到達できると信じています。

JUAN Bowl & Tea

●住所: Shop 5, 94A Pitt St., Redfern NSW 2016 ●営業時間: 【ランチ】水～日12PM～3PM、【ディナー】水～日6PM～9PM、月・火休 ●Facebook: www.facebook.com/juanbowlndtea



# Japanese Community News

## 日本政府観光局「Japan Travel Fair」開催 シドニーの遊園地で大規模な日本の旅行博



会場は多くの人でにぎわった

オーストラリア最大の都市・シドニーの遊園地「ルナ・パーク」で2月4～5日の2日間にわたり、訪日観光客誘致を目的とした「Japan Travel Fair」が開催された。主催は日本政府観光局（JNTO）シドニー事務所。JNTOシドニー事務所がオーストラリアの一般観光客を対象に旅行博を実施するのは今回が初めての試みだ。

イベントでは旅行会社10社、航空会社2社、ホテル・リゾート及びアトラクション会社3社、地域3団体など、全18社・団体がブースを出展、2日間で7,500人以上にのぼる来場者が訪れた。

会場では、各出展者のブースに加え、日本文化を体験できる9つのアトラクション、会場に設置されたステージでは琴の演奏やソーラン節など、日本の伝統芸能を始めとしたパフォーマンスなども披露され、活況を呈した。

JNTOシドニー事務所の田中陽子所長は「コロナ禍など苦しい時期においても訪日旅行を販売頂いた



登壇したJNTOシドニー事務所・田中所長

各旅行会社への支援、また目的地の更なる認知向上を支援したいといった思いから開催を決めました。今回、多くの人に来場頂くと共に、出展者からも満足の声を聞くことができました。今後も引き続き訪日旅行や各地域の魅力・体験を紹介し、オーストラリアの方々により日本ならではの特別な体験を楽しんで頂けるような情報発信を続けていきたい」とコメントした。初の試みながら、成功裡に終了した大規模イベント。今後の訪日需要の更なる高まりに期待したい。

■日本政府観光局シドニー事務所  
Web: [www.jnto.go.jp/jpn/about\\_us/overseas\\_network/sydney/index.html](http://www.jnto.go.jp/jpn/about_us/overseas_network/sydney/index.html)

## ポール・ディブ豪州国立大学名誉教授、叙勲伝達式 在オーストラリア日本国大使公邸で



旭日中綬章を受章したディブ名誉教授（左）と山上大使

在オーストラリア日本国大使公邸で2月3日、ポール・ディブ豪州国立大学名誉教授（元豪州国防省副次官、元統合情報機関長官）への叙勲伝達式が執り行われた。同名誉教授は、防衛分野における日豪協力関係の促進に寄与した功績が認められ、令和4年秋の外国人叙勲において旭日中綬章を受章。伝達式では、山上信吾・在オーストラリア日本国大使が、1986年に「ディブ・レポート」を取りまとめた日豪防衛協力の礎を築いた他、1990年代には

豪州として米国以外で初となる日本との戦略対話を開始し、2000年代に豪州を取り巻く環境が大きく変化の中で、日豪協力の戦略的重要性を一貫して唱え続けたディブ名誉教授を称える祝辞を述べた。

これに対し、ディブ名誉教授から、旭日中綬章の授与に対する謝意が表されると共に、日豪関係の促進に共に取り組んだ当時の同僚や家族、山上大使など伝達式の出席者1人ひとりに対し心こもった謝意が述べられた。

## 2023年新年祝賀レセプション、 内藤康司・在パース日本国総領事歓迎式が開催

在パース日本国総領事公邸で1月19日、西豪州日本人会商工部会との共催により、新年祝賀レセプションが開催された。昨年10月に着任した内藤康司・在パース日本国総領事の歓迎式も兼ねて行われた同レセプションには、スー・エラリー西豪州政府予算・商業・女性の権利大臣（州首相代理）、ミッシェル・ロバーツ州下院議長、シェーン・ラブ州野党党首代理、リチャード・コート元駐日大使を始め、州政府、経済界、日本企業及び日系コミュニティの関係者など約130人が参加。

新年を祝し、人びとの健康と幸福、調和を願って酒樽に木槌を入れる鏡割りが行われ、西豪州日本人会・上田庸介会長が乾杯の音頭をとり、すしなど日本食や日本酒が振る舞われ、和やかな懇談の場となった。

本誌の取材に対し、内藤・在パース日本国総領事は、「着任直後に、岸田内閣総理大臣を迎えるという大役を担い、アルバーニー豪州首相がパースを訪れるなど、短期間の間にさまざまな方々との会



来賓代表として鏡開きを行った（左から）コート元駐日大使、ロバーツ州下院議長、エラリー西豪州政府予算・商業・女性の権利大臣、内藤在パース日本国総領事、ラブ州野党党首代理、上田西豪州日本人会商工部会長

合を持ちました。その中で、日豪間がこれまで長い時間を掛けて相互の信頼関係を築いてきたことに非常に感銘を受けました。そういったことが、日本と西豪州の関係の中でとても重要な要素となっていると思っています。西豪州には、いろいろな分野で、日本とオーストラリアの関係をつなぐことを生き甲斐にしている方々がたくさんいらっしゃるといことが非常にありがたいです。我々の役割は、そういったアンバサダーが輝けるよう、経済関係もそうですが、人と人との関係がより緊密になるように全力を尽くしたいと思っております」と述べた。

## 土方凜輝、全豪オープン男子ダブルス優勝 シングルス本選初勝利

土方凜輝(21歳、マックヒジカタ・テニス・アカデミー)/ジェイソン・クブラー(オーストラリア)ペアが1月16~29日、オーストラリア・メルボルンで開催された全豪オープン男子ダブルス決勝でユーゴ・ニス(モナコ)/ヤン・ジェリンスキー(ポーランド)ペアを6-4、7-6(4)のストレートで破り、ペア初のグランドスラム制覇を果たした。

ワイルドカード(主催者推薦枠)を受け、今大会で初めてペアを組んだ2人は、1回戦でハンス・ハッチ・ベルドゥーゴ(メキシコ)ジョン・イズナー(アメリカ)を7-6(6)6-4、2回戦で第6シードのロイド・グラスプール(イギリス)/ハリ・ヘリオベアラ(フィンランド)を3-6、7-5、6-2、3回戦でトミスラフ・ブルキッチ(ボスニア・ヘルツェゴビナ)/ゴンサロ・エスコバル(エクアドル)を1-67-6(8)6-4で勝利。準々決勝で、第1シードのヴェスレイ・クルホフ(オランダ)/ニール・スキブスキー(イギリス)に6-36-1で快勝した。準決勝では第8シードのマルセル・グラノイェルス(スペイン)/ホレイショ・ゼバロス(アルゼンチン)を6-4、6-2



左から土方凜輝、ジェイソン・クブラー

で破り、決勝進出を決めた。

表彰式でクブラーは「凜輝に感謝しなければならない。この大会のためにチームを組んだのは、彼のおかげだ。僕は迷っていたけれど、彼に誘われ、「イエス」と答えて出場することにした。そして、2週間後にトロフィーを手にすることができたので本当に感謝している」とコメント。それに対し土方は「想像もできなかった。数か月前、僕と一緒にプレーすることに「イエス」と言ってくれてうれしいよ。本当にありがとう」と返答した。

テニス・アカデミーを経営する土方の父、土方誠氏のコメントを「Nichigo Pressオンライン版(www.nichigopress.jp/topics-item/56456/)」に掲載している。

## 日本産「和牛」、豪州で更なる市場拡大 シドニー、ブリスベンでイベントを開催



左から姫田尚氏、藤島博康氏

日本畜産物輸出促進協議会は、和牛の豪州への輸出促進を目的にその品質の高さをアピールする「日本産和牛マスター・クラス」を開催した(シドニー1月30日、ブリスベン2月2日)。イベントでは「和牛エキスパート」の異名も持つ公益社団法人・全国食肉学校の田中智洋・訓練指導員による肉の各部位ごとのカットングの実演、及び和牛に適した調理法などに関する講演が行われ、会場には飲食店、精肉店、食品卸業者など100人近い参加者

が集まった。講演後はネットワーキングの時間が設けられると共に、試食会も行われた。

主催の公益社団法人・中央畜産会の姫田尚副会長は「豪州がWagyuの価値を世界で高めてくれたことに感謝している」、日本畜産物輸出促進協議会の藤島博康次長は「サーロイン・リブブロス、ヒレの輸出が主流のエリアに比べ、豪州は他部位の輸出も多い。その多様性に注目している」とコメント。豪州市場への期待を伺わせた。

## クローズ・ネストでWSOチャリティー・フェスタ2023を開催 ボランティア、フリマ出店者、舞台パフォーマーを募集

シドニーの非営利団体ワールド・スカラーシップ・オーガナイゼーション(WSO)は3月26日、シドニー北郊に位置するクローズ・ネスト・センターで「WSOチャリティー・フェスタ2023」を開催する。

WSOは、同イベントの事前準備や当日の運営に携わることができるボランティア・スタッフやフリーマーケットの出店者、舞台パフォーマーを募集している。

同イベントでは、ベビー・子ども用品や、着物、その他雑貨類のフリーマーケットや、綿菓子、大福、カップケーキなどスイーツの屋台、弁当販売、フェイス・ペインティングなどが実施。ダンスや和太鼓、エイサー、チアリーディング、空手、相撲などのパフォーマンスも披露される予定だ。会場には募金箱が設置され、ラッフル、屋台、ゲーム、弁当販売などの収益を恵まれない若者への寄付金を募り、入場無料の催しとして開催される。

WSOは、バングラデシュやケニアなどで15歳以上の義務教育を終了した学生を対象に、職業訓練学校などに進むための返済の必要のない



昨年に続き、屋台の出店も予定されている

い給付型奨学金を提供することを目的とした非営利団体で、シドニー近郊の日系コミュニティにより2013年に発足された。

同奨学金制度を通じて恵まれない若者たちが技術を身に付け、経済的に自立することや、世界の貧困を少しでも減らすことを目標としている。イベント参加に関する問い合わせは、以下のEメールで受け付けている。

■WSOチャリティー・フェスタ2023  
日程: 3月26日(日) 10AM~5:30PM  
場所: クローズ・ネスト・センター (2 Ernest Place, Crows Nest, NSW 2065, センターの隣に無料駐車場あり)  
Email: wsoevent@gmail.com (フリマ・舞台パフォーマー担当: ahya)、mpmap9715@gmail.com (ボランティア担当: 香織)  
Web: www.wso-au.org

## 家庭内暴力保護新制度

NSW州政府は1月23日、パートナーに家庭内暴力の犯罪歴があるかを調べるための新制度をNSW州全域で開始すると発表。「質問する権利(Right To Ask Scheme)」は、NSW警察が家庭内虐待の被害者となりうる人にパートナーの過去の虐待や暴力行為に関する情報を開示する機会を与えるものだ。

NSW首相ドミニク・ペロレー氏は、提案された制度は英国のクレア法に基づいており、家庭内暴力の危険にさらされている人びとが恋

愛関係について十分な情報に基づいた決定を下せるようになるだろうと述べた。ペロレー氏は、「加害者が以前に家庭内及び暴力的な犯罪の権利(Right To Ask Scheme)」は、NSW警察が家庭内虐待の被害者となりうる人にパートナーの過去の虐待や暴力行為に関する情報を開示する機会を与えるものだ。

また、副首相兼警察大臣のポール・トゥール氏は、NSW州は2016年に家庭内暴力の開示制度を試行したオーストラリアで最初の州であると話す。

## SBSラジオ日本語放送見どころ

SBSラジオ日本語放送は毎週、火、木、土曜日の午後10~11時に番組を放送している。シドニー市内からはAMラジオ1107kHzにチューンを合わせる方法と、デジタル・テレビのデジタル・ラジオ「SBSRadio1」を選択する方法で聞くことができる。

1月は、シドニーのイラストレーター・Yasuko Todaさんのインタビューや、NSW州立美術館の創立150周年事業「Sydney Modern Project」について日本語ガイドに聞

く全5回のインタビュー・シリーズを放送。ウェブサイトでバックナンバーの視聴ができる。2月から、オーストラリアの文化などを日本語で紹介するポッドキャスト「オーストラリア・エクスプレインド(全6回)」も配信中心。

また、毎月最終木曜日は、NICHIGO PRESS翌月号やオンライン版の見どころや取材の裏話などを編集部スタッフが紹介している。

■SBSラジオ日本語放送  
Email: Japanese.program@sbs.com.au  
Web: www.sbs.com.au/Japanese

みんなの将来の  聞かせて下さい!

シドニー・チアリーディング「SPRINGS」

シドニーで日本語学習や、アクティビティーを行っている子どもたちに「将来の夢」を聞き記録を残していく企画。今回は、「シドニー・チアリーディング「SPRINGS」」のメンバー6人に将来の夢をお寄せ頂きました!



- 私はダンスが好きなので、大きくなったらダンスの先生になって皆にダンスの楽しさを伝えたいです。 遠藤由唯
- イラストレーターや建築家などデザインに関わる仕事をして、普段の生活の中で人を笑顔にしたいです。 ブレイヤー美結
- 夢→声優、理由→声で想いを届けられる存在だから 福田さら

- たくさんの方に会いたいです。最初に行ってみたい国はシンガポールです。シンガポールで食事をしたいです。 露木理咲
- 動物が好きなので、獣医になってけがや病気の動物を助けたい。 春和
- ダンサー、ダンスの先生。音楽に合わせて体を動かすのが楽しい。ダンスで気持ちを表現するのが好きです。 M.K.

4788SYDN

確かなバイリンガル力で世界に羽ばたく

日本人学級と国際学級を併設

Two curriculums. One school.

Japanese Curriculum  
Y1-9

NSW Curriculum  
K-Y6



JAPANESE INTERNATIONAL SCHOOL  
シドニー日本人国際学校

オンライン説明会

日本語 3月9日(木)  
英語 3月10日(金)

Scan me

プライベートツアー、  
オンライン説明会のご予約はこちらから



編入学アプリケーション随時受付



読書好き  
集まれ!



協力：オーストラリア紀伊国屋書店  
(Level 2, The Galleries, 500 George St., Sydney)

本好きにとって、トレンドに取り残されてしまうのはつらいところ。本連載では、シドニーCBDに店を構え、KINOと親しまれるオーストラリア紀伊国屋書店協力の下、トレンド・キーワードと共に読み逃さない話題の3冊と、日本のトレンドをキャッチするための最新ランキングをご紹介します。

日本では3月、4月に卒業や入学、入社シーズンを向かえ、新たな旅立ちや出会いなど、寂しいようなうれしいような環境の変化に心踊らされているのではないのでしょうか？ そして、日本の春と言えば「桜」を思い浮かべる人も多はず。そ

こで今回紹介したい本は、「桜」にまつわるものをまとめてみました。「綺麗ですてきだけど、切なくて胸がぎゅっと締め付けられる……」。そんな体験をぜひこの3冊の本を通して味わってみてください。

今、売れている本は？

👑ベストセラー・ランキング (2023年1月1~7日)

■文庫ベストセラー

1	かがみの孤城 (上)	辻村深月	ポプラ社
2	小説 すずめの戸締まり	新海誠	KADOKAWA
3	かがみの孤城 (下)	辻村深月	ポプラ社
4	これは経費で落ちません! 経理部の森若さん (10)	青木祐子/uki	集英社
5	希望の糸	東野圭吾	講談社

■新書ベストセラー

1	日本史を暴く 戦国の怪物から幕末の闇まで	磯田道史	中央公論新社
2	バカと無知人間、この不都合な生きもの	橋玲	新潮社
3	未来の年表 瀬戸際の日本で起きること	河合雅司	講談社
4	成熟スイッチ	林真理子	講談社
5	80歳の壁	和田秀樹	幻冬舎

KINOKUNIYA便り

オーストラリアではだんだん日が短くなってきて肌寒く感じる日が増えてくるころですが、日本では桜のシーズンで新しい出会いに心が沸き立つ季節でもあります。ここは日本の感覚を取り入れて、心機一転、何か新しいことに取り組んでみるのも良いかもしれません。今回は出会いと別れが詰まった桜にまつわる本を集めてみました。物語に背中を押してもらって、新たなことに挑戦してみたいかでしょうか。

ランキングからPick up!

成熟スイッチ  
林真理子/講談社



昨日とは少し違う自分になる「成熟スイッチ」はすぐそこにある——。人気作家が成熟世代に贈る待望の人生論新書。日大理事長就任、「老い」との近づき方など、自身の成熟の現在地を明かしながら、先輩・後輩世代との付き合い方、自分の株が上がる「お礼」、会話を面白くする「毒」など、著者ならではの成熟テクニックが詰まった1冊。

今週のトレンド・キーワード「桜」

時を超えた2人の恋物語

いつか、君がいなくなってもまた桜降る七月に  
八谷紘

スタート出版 (価格: A\$17.33 < 価格: A\$15.60 >)



何度だって君を好きになる。たとえ失うと分かっているでも——。交通事故がきっかけで陸上部を辞めた高2の華は趣味のスケッチをしていたある日、不思議な少年・芽吹(めぶき)が桜の木から転がり落ちてきて華の毎日は一変する。翌日「7月に咲く桜を探しています」という謎めいた自己紹介と共に転校生として現れた芽吹に……。

息を呑む衝撃と感動の医療ドラマ

最後の医者は桜を見上げて君を想う  
二宮敦人

TOブックス (価格: A\$17.88 < 会員価格: A\$16.09 >)



余命は半年です——。ある病院で、医者・桐子は患者にそう告げた。死神と呼ばれる彼は、「死」を受け入れ、残りの日々を大切に生きる道もあると説く。だが、副院長・福原は奇跡を信じ最後まで「生」を諦めない。対立する2人が限られた時間の中で挑む戦いの結末とは？ 究極の選択の前に、患者たちは何を決断できるのか？

桜のように儂く美しい恋の物語

桜のような僕の恋人  
宇山佳佑

集英社 (価格: A\$16.50 < 会員価格: A\$14.85 >)



美容師の美咲に恋をした晴人。彼女に認めてもらいたい一心で、1度は諦めたカメラマンの夢を再び目指すことに。そんな晴人に美咲も惹かれ、やがて2人は恋人同士になる。しかし、幸せな時間は長くは続かなかった。美咲は、人の何十倍もの早さで年老いる難病を発症してしまったのだ……。2人が出会い、愛し、駆け抜けた季節を描く感涙の1冊。

## オーストラリアで不動産を手に入れるための大切な情報について

究極の住宅不足。オーストラリア不動産の賃貸の現状と購入に関する注意点について解説します。

### 切迫する賃貸市場と今後の影響

1%を切るという空前の空室率を記録しているオーストラリア不動産の賃貸市場。コロナ禍下であっても人口は増えていたオーストラリアですが、2022年後半にこの空室率が急激に下落した主な要因として、同年3月からの国境開放による海外からの流入者増加が挙げられます。

オーストラリアの最大都市であるシドニーの都心の場合、20分間ほどの賃貸物件の内覧会に約50人もの賃貸希望者が集まった事例がありました。大学や専門学校に就学するために、海外から来豪した留学生らがその住居を確保しようと、同様の内覧会はどこも常に混み合っている様相です。

更に、コロナ禍からの経済復興を経て堅調ぶりが顕著な国内経済や、インフレーションによって、賃貸物件の家賃も上昇傾向が続いており、賃貸者にとってはうれしくないと言える状況です。

そのような中、この悩ましい賃貸状況からの脱却のために、初めて不動産物件を購入しようとする希望者に対して、政府による選択的かつ新たな補助制度が23年から本格的に始まっています。そのため、今こそ物件購入をと意気込んでいる人は多いと思われます。

一方、賃貸物件を所有するオーナー側にとっては、空室なく賃貸家賃の値上げができ、投資としてはむしろ好ましい状況です。

不動産を購入するということは大きな決断を伴いますが、自らの暮らしを守るための大切な資産となることを判断材料の1つとして考慮したいものです。

そして、不動産を安全・安心して購入するためには、専門家の適切なアドバイスに沿って手続きを進めることが肝要です。今回はそれらの関連事項の一部を簡単に解説します。

### 増強された不動産購入者向けの政府補助制度

23年1月から、不動産購入者に対する政府に

よる補助制度が増強されています。

「First Home Buyer Choice」「First Home Buyer Assistance Scheme」「Shared Equity Home Buyer Helper」と種類が増え、制度内には購入者向けのさまざまな選択肢が増えています。

例えば、「First Home Buyer Choice」においては、初めての物件購入者（First Home Buyer）が物件を購入する場合、対象となる購入物件価格の上限が150万豪ドル（1.5ミリオン豪ドル）と現実的になり、物件購入後の印紙税を購入時に一括で支払うか、毎年の固定資産税（Property Tax）として支払うかの選択ができるようになっていきます（固定資産税で払う場合、印紙税は免除）。

また、初めての物件購入者が65万豪ドルまでの物件を購入する場合も、これまでと同様に「First Home Buyer Assistance Scheme」によって印紙税は免除になります。

その他、NSW州政府は新規不動産物件の購入価格の最大40%、建築済み物件の購入価格の最大30%を負担し、物件が売却されるまで、または購入者の共有資格がある限り、購入者と共にその割合に基づいて物件を共有するという制度「Shared Equity Home Buyer Helper」も導入しました。購入者はその間、政府のシェアに対する支払いなどは免除されます。

なお、より多くの方が自分の持ち家を所有することを支援するこれら制度は、対象者が限定されている場合や特定の条件のみの場合もあるので、誤解なく賢く利用するためには法的ライセンスを有する弁護士に確認することが肝要となります。

特に日本とは制度や用語が異なるので、理解に対して不安がある人は、日本語での翻訳・通訳の国家資格を保持する日本人弁護士などに依頼することも大切です。オーストラリアで不動産を購入をする際は、信頼できる弁護士に依頼し、署名をする前に、最低限、契約書の内容を理解

しておきましょう。

ただし、弁護士費用の請求が時間単価になるかなど、料金体系はあらかじめ確認しておくことをお勧めします。また、弁護士にはそれぞれ専門分野があり、不動産売買を専門としない、または詳しくない場合もありますので、適切な弁護士に依頼するようにしましょう。

### コロナ禍で変わった人びとの意識

いずれにしても、人口の増加率と都市圏への集中傾向が著しいオーストラリアでは、コロナ禍という今までになかった生活危機を背景に、人びとはいかにして生き抜くか、どのように暮らすか、ということがたいへん重要であることを学んだのではないかと思います。融資に関しても自宅購入者の割合が増えつつあるのは、こうした心理的な側面もあるのではと想像されます。

しかし、オーストラリアの不動産を購入することが有利になるのはマイホーム・バイヤーだけではありません。次号からはその詳細も紹介していく予定です。

また、コロナ禍の悪影響による経済不安を解消するために下げられた法定金利は徐々に元に戻りつつあり、その影響で不動産価格が下がることを予測する金融機関もありますので、今後、購入者にとって好機が来る可能性もあります。オーストラリアの法定金利の発表は毎月第1火曜日ですので、その情報もチェックしておいた方が良いでしょう。

家族の笑顔を守る大切な家が。賃貸者、投資家、マイホーム保持者のために、優良な住宅が供給されることを願って止みません。

詳細は各専門家にお尋ねください。



鶴美枝

グローバル・インテリジェンス・マネージメント代表。創業2010年以来、豪州各地の優良不動産を厳選し、豪州及び日本在住のホーム・オーナー若しくは投資家の方々の購入をサポートし資産増幅、理想の住まいの確保に日々尽力中。日本と豪州にて法学部大学院卒業。豪州不動産フルライセンス保持



豪州不動産ならGIM 豊富な在庫と手厚いサポート

将来に向けて夢のマイホーム、資産形成を  
じっくりGIMと考えてみませんか？

グローバル インテリジェンス マネージメント / GIM キャピタル プロフェッショナル株式会社  
GIM代表 鶴美枝

本社住所: 313/3, Spring St, Sydney NSW 2000  
ノースシドニー支社: 100 Walker St, North Sydney NSW 2060  
連絡先: 英語総合 02-9235-2908 日本語直通 0421-458-081  
E-mail: info@gimmanagement.com.au  
Web: https://gimmanagement.com.au - お気軽にご相談ください -

皆様のお陰で  
13周年

GIM

## 第88回 有名な移民訴訟—豪州最高裁判決による“本物の豪州人”とは?

2005年8月、豪州最高裁は憲法に従い「“本物の豪州人”ではない“外国人”」を理由に、生まれながら豪州国民であったパプアニューギニア出身の男性から、豪州市民権をなく奪する決定を下しました。この有名な判決は、豪州市民権保有者に、コミュニティーへの完全参加を認めていないことを示しており、豪州に住む多くの二重国籍保有者の法的立場について疑問を投げかけました。

### 状況

私は豪州の隣国パプアニューギニア (PNG) 東海岸沖に位置する島で生まれました。PNGは多様で豊かな文化、歴史、地形を備えた国です。おおらかで友好的な人びと、緑の生い茂った熱帯の景色、地球上で最も地震活動が活発な地域の1つとして知られています。最高裁が下した“本物の豪州人”判決は、歴史的背景から英国中心の見解に傾いている豪州法、特に移住者や市民権に関する法律に関して、地殻プレートの衝突さながら、一触即発の議論を巻き起こしました。

### 背景

判決にも影響しているPNGの歴史を少しお話ししましょう。1800年代末期、PNGはドイツ領とイギリス領に分かれていました。1906年、イギリス領は1901年にイギリスから独立した豪州に継承され、準州“パプア”となり（「Papua Act」が可決され、豪州管理下となる）、豪州国旗の連邦を意味する六稜星が七稜星になりました。ちなみに豪州国旗にある5つの星は、国土が南半球にあることを象徴する南十字星です。

当時、パプアで生まれた人びとの国籍は、豪州の住民同様、“英国人”でした。第1次世界大戦のベルサイユ条約（1919年6月28日締結）により、ドイツ領ニューギニアはドイツから離れ、豪州の管理下に置かれました。

最高裁の判決に話を戻しましょう。Amos Ame氏は、67年に豪州の管理下にあったパプアで生まれました。48年から75年の間に“パプア地区”で生まれた人は生まれながら豪州国民であることを定めた法律「Nationality and Citizenship Act 1948」の下、Ame氏は豪州の市民権を保有していました。

しかし、豪州国籍であるにもかかわらず、パプアから豪州本土に渡航する際、Ame氏は

「Migration Act」に従って入国許可を取得する必要がありました。2005年、ビザの期限が切れて不法滞在となったAme氏は、豪州連邦政府によってPNGに送還されました。この判断に納得がいかないAme氏は、自分は生まれながらにして豪州国民であり、一生、市民権を失うことはない」と反論、提訴しました。Ame氏の主張は、豪州国籍を保有する者は、豪州に住む法的権利があり、本人の意思に反して、政府が強制送還するのは間違っている、というものでした。

「Ame's Case」と呼ばれるこの衝撃的訴訟は、最高裁で、パプアで生まれた人びとは決して“完全な”あるいは“本物の”豪州国民ではなく、1975年にパプアとニューギニアが合併して独立国家となった際、彼らにとって2番目の国籍、つまり豪州市民権は消滅する、という判決が下されました。75年9月16日にPNGが独立国となり、Ame氏はその時点でPNG国籍を保有、“本物の豪州人”ではない彼は、豪州国籍を失う、というものでした。2005年の時点で豪州国民ではなくなっていたAme氏は法的に見て、豪州・コミュニティーの一員でなく、「Migration Act」（外国人の豪州への入国、滞在を認めるビザの法的枠組みを定めた1958年制定の政府法案）に従い強制送還されることになりました。

この判決によって、“豪州市民権”は、豪州に住む権利も含め、豪州のコミュニティーへの完全な参加を保証するものではないことが明らかになり、領有権の行使により、彼らが生まれながら保有していた豪州の市民権さえもはく奪することができます、そして、豪州法の下、制定法的には“国民”であっても憲法上“外国人”として扱われることもあり得るとい、何とも強烈な判断でした。

では、アメリカの場合はどうでしょうか。1789年施行の米合衆国憲法（例として）は、市民権を保証しています。憲法修正第14条に従い、アメリ



1960年代後半のパプアで撮影。幼少期（著者）、地元の高校生たちと一緒にGoroka空港で豪州首相の訪問を待つ様子（写真提供=ミッチェル・クラーク）

カ合衆国の領土内で出生すると、アメリカ合衆国の市民権が付与され、刑罰の行使や出生後すぐかどうかにかかわらず他国へ移住した場合などを除き、生まれながらにして与えられた市民権は一生保証されます。一方豪州では、完全に法律が市民権を作っていると言えるでしょう。

ただし、「Ame's Case」で出た判決によって、豪州・PNG間で勃発しそうな大問題は回避できました。もしAme氏が訴訟に勝っていたなら、PNGの人びとの多くは豪州人になることを選択していたでしょう。そうなった場合、独立国となったPNGの将来が脅かされていたはずで

豪州の連邦政府は、憲法51条により“自国と外国”に関する法律を制定する力を備えています。最高裁は、生まれながらAme氏が保有していた豪州の市民権をなく奪する際、Ame氏を“外国人として扱える”と言いました。

■参考文献=「Ame's Case」（Peter Prince著）  
2005年10月27日 Department of Parliamentary Services  
発行Research Brief Paper掲載



**ミッチェル・クラーク**  
MBA法律事務所共同経営者。QUIT法学部1989年卒。豪州弁護士として30年の経験を持つ。QLD州法律協会認定の賠償請求関連法スペシャリスト。豪州法に関する日本企業のリーガル・アドバイザーも務める。高等裁判所での勝訴経験があるなど、多くの日本人案件をサポート



**50 YEARS YOUNG**  
EST.1970

## MBA 法律事務所 ジャパンリーガルサービス

人身傷害・賠償請求法のスペシャリスト




ミッチェル・クラーク  
中瀬 恵子

オーストラリアで事故（交通事故や労災等）に遭い怪我をしてしまったら、  
ビザに関係なく、まずはMBA法律事務所にご相談ください。

初回ご相談無料

日本語対応

「成功報酬制」+ 後払い

賠償請求に要する費用のお支払いは賠償金受領後、かつ賠償金額を超える自費負担のリスクがない「成功報酬制」を採用しています。1970年設立の当事務所は約半世紀に渡って信頼の厚いサービスを提供し続けています。事故案件の対応はパートナー弁護士のミッチェル・クラークが担当、日本語で承ります。人身傷害法の分野で最高レベルのスペシャリストとしてクィーンズランド州法律協会が認めた弁護士率いるチームが一丸となって不運にも被害に遭ってしまった方を全力でサポートします。




◇ 新オフィスに移転しました ◇  
Robina Town Centre  
Level 1, Shop 5003 Robina Town Centre  
Robina QLD 4226  
Tel: 07-5339-9688  
Email: [mbajapan@mba-lawyers.com.au](mailto:mbajapan@mba-lawyers.com.au)  
Web: [www.mbalawyersjapan.com](http://www.mbalawyersjapan.com)



PROFILE

Debra Hazelton

シドニー大学、NSW大学、慶應義塾大学で学位取得。コモンウェルス銀行の東京支店で、海外支店初の女性財務部長と支店長を務める。みずほフィナンシャルグループ本店で日本人以外で初の上級管理職、豪日協会役員。現在、オーストラリアの金融大手、AMPリミテッド会長、ビクトリア州財務公社 (TCV) 非常勤取締役、パーソル・アジア・パシフィック非常勤取締役。2001年より豪日経済委員会 (AJBCC) 副会長

PROFILE

さくのよしのり

doq®創業者・グループマネージング・ディレクター。米国広告代理店レオバーネットでAPAC及び吹米市場での経験を経て、2009年にdoq®を設立。NSW大学AGSMでMBA、Hyper Island SingaporeでDigital Media Managementの修士号を取得。移民創業者を称える「エスニック・ビジネスアワード」ファイナリスト、2021年NSW州エクスポート・アワード・クリエイティブ産業部門最優秀企業賞を獲得

# 「女性である」以上に「他者である」こと 異なる存在としての自己への挑戦

対談

デボラ・  
ヘーゼルトン

豪日経済委員会副会長

作野善教

doq®代表

日系のクロス・カルチャー・マーケティング会社doq®の創業者として数々のビジネス・シーンで活躍、現在は日豪プレスのチェア・パーソンも務める作野善教が、日豪関係のキー・パーソンとビジネスをテーマに対談を行う本連載。今回は豪日経済委員会副会長として、日豪をつなぐデボラ・ヘーゼルトンさんにご登場願った。

(撮影：クラークさと子、監修：馬場一哉)

**作野**：最初に日本で培われたキャリアについてお聞かせ下さい。

**ヘーゼルトン**：高校の日本語教師として9年間教職に就いた後、異なる分野にチャレンジしてみたいと思い、大学に戻って商学の修士号を取得しました。それからコモンウェルス銀行に入学、文部省の奨学金で日本の慶應義塾大学の博士課程に留学しました。大学で勉強しながら、コモンウェルス銀行の東京支店でパートタイムで働いていました。

当時は、バブル経済絶頂期の1980年代後期で、日本の投資家はオーストラリア国債や豪ドルの取引に興味を持ち始めていました。トレーディング・グループの取引のスピード感、グローバル経済とのつながりに魅了されました。非常にエキサイティングな経験でした。そこで博士課程を辞めて債券トレーダーになるチャンスをつかんだのです。

**作野**：日本語教師からトレーダーへ。何が大きな変化の原動力になったのですか？

**ヘーゼルトン**：もともと大学では日本文学や西洋哲学を専攻していて、詩人や芸術家を志向していました。ところが、商学の修士号や博士号の課程で、私は、自分が以前に思っていたような人間ではない、と認識したのです。そして、とんでもないスピードで進む巨大な金融の世界に飛び込みまし

た。私自身にとっても、私を知る周りの人にとっても大きなサプライズでした。

## 幸運にも挑戦し続けるチャンスに恵まれた

**作野**：今日のヘーゼルトンさんを導いた原動力は何だったのでしょうか？

**ヘーゼルトン**：チャンスをつかむために、自分を信じハードに働きました。私は自分自身を試すことを恐れません。大切なのは、失敗から学び続けることです。

**作野**：挑戦に対して自信を与えてくれたバックグラウンドや若いころの経験をお聞かせください。

**ヘーゼルトン**：私はステレオタイプ（先入観）を疑っています。私は決して恵まれた環境で育ったわけではありません。人が平等に持っているはずのチャンスが、ステレオタイプによって失われると、私はいつもいらだちを感じます。人の足を引っ張るようなステレオタイプには立ち向かっていきたいと考えています。

**作野**：日本とオーストラリアの関係は今後10年間でどのように発展していくとお考えですか？

**ヘーゼルトン**：足りない部分をお互いに補完する関係がさらに進化していくと思います。これまでの

10年間、日豪のパートナーシップは幅広い分野に広がってきましたが、今後10年間、貿易とビジネスの結びつきは更に強固なものとなるでしょう。加えて、地政学的な緊張に際して、安全保障の分野における日豪関係の重要性も増しています。

2023年は、豪日経済委員会（AJBCC）と日豪経済委員会（JABCC）の第60回日豪経済合同委員会会議がメルボルンで開催されます。地域の安全保障やグリーン・エネルギーへの移行、技術革新、多様な職場環境の構築、地域のインフラ向上に向けた協力などのテーマについて話し合われる予定です。日豪がパートナーとしてより協力を深めることになるでしょう。

**作野**：日豪関係は政府間や一部の産業では非常に緊密ですが、人と人の関係という意味ではまだ距離が離れている印象があります。国民の間の草の根の関係を更に発展させるには何が必要でしょうか？

**ヘーゼルトン**：スポーツや食べ物、旅行を通じた交流など全てが重要です。また、テクノロジーやイノベーションといった新しい分野での協働は、ビジネスや経済の障壁、毎日の生活における障壁を取り除くことになります。より多様な環境で仕事をしているオーストラリア人は、日本人を深く理解し、お



互いの交流を促進することができると思います。

また、JETプログラム（日本政府の「語学指導等を行う外国青年招致事業」）などの交流事業を通して育まれた深い文化的な関係も忘れることはできません。私は10代後半の頃に大阪で交換留学を経験しました。交換留学生は違ったレベルで日本での生活を体験することができますので、力強い相互理解を促すことができます。交換留学生とそのホストファミリーは両国にとって素晴らしい役割を果たします。

### ハードワークには好機がついてくる

**作野：**ジェンダーの平等、ダイバーシティ（多様性）、インクルージョン（包括性）について話をうかがいます。金融の世界や日豪関係において、成功した女性リーダーとして活躍されていますが、これまでの人生で女性として最も苦勞したことは？

**ヘーゼルトン：**「女性」であることではなく、「他者」であることが、本質だと思うのです。女性であること、異なる人種的、社会的バックグラウンドを有すること、宗教やライフスタイルに関する価値観の違い、年齢が低い、高いなど、さまざまな理由によって人は「他者」と解釈され、機会を奪われる可能性があります。たとえ能力が認められたとしても、仕事を達成する上で必要なサポートを受けられないこともあるでしょう。私がダイバーシティを強く支持するのは、必要な時に機会を均一にするための強制力が担保されるという、非常にポジティブな側面があるからです。

**作野：**どのような時に自分が「他者」と感じ

ましたか？

**ヘーゼルトン：**私は「他者」として初めての体験をたくさんしました。「もっと理解とサポートが得られたなら、もっと良い仕事ができただろう」と思うケースはたくさんありました。日本の銀行で働いていた時、1部屋に数百人のスタッフがいる中で、女性は私1人という経験もありましたし、多くの場合、日本人以外のスタッフは私1人でした。

その反面、男性も女性も、日本人も外国人も、私にチャンスを与えてくれました。ですから、私を日本に送って財務部長と支店長に登用してくれたコモンウェルス銀行の上司や、グローバルなビジネスに多文化主義を導入するために私を起用してくれたみずほフィナンシャルグループの社長には非常に感謝しています。困難に直面することもありました。しかし、ステレオタイプに挑戦して、「他者」にもできることを証明する機会を得たことをとても嬉しく思っています。

**作野：**人はチャンスを掴むために強くなり、自分に自信を持つことが不可欠です。そのような思考をどのようにコントロールしましたか？

**ヘーゼルトン：**まず始めに「自分是可以るんだ」と信じることです。そしてエネルギーと強いコミットメントを持ってチャレンジに挑むことです。私は「最悪の事態は何か？」と自分に問いかけます。もし、その最悪の事態が個人的な自尊心を傷付ける可能性があるなら、私はそのチャレンジに挑む価値があると考えます。

**作野：**日本とオーストラリアのリーダーシップと企業文化の違いについて、考えを聞かせてください。

**ヘーゼルトン：**まず企業文化の話しましょう。企

業文化は非常に異なります。私がみずほフィナンシャルグループの人事本部長に就任するまで、日本の人事システムが他国とどれだけ異なるか、世界と比較していかに特殊か、知りませんでした。

また、日本のリーダーは、リーダーシップのスタイルを選択する機会が与えられていません。それは既に決められたものであり、何世代にもわたってそれが普通だと考えてきたのです。日本のリーダーシップのスタイルを考える時、それを念頭に置く必要があります。

その一方で、成功したリーダーには日本とオーストラリア、どちらの国においても共通点があります。人の話をよく聞く、常識を疑ってかかる、多様な考え方を促す、安全な職場環境を整える、といったものです。素晴らしいリーダーシップというものはオーストラリアでも日本でも同じですが、おそらくスタート地点が異なるのでしょう。

**作野：**日本の組織で働いているとほとんど日本人とばかり接しますが、オーストラリアでは世界中の人と共に仕事をします。オーストラリアのようなマルチカルチャーな環境では、公平な態度であることにより注意しなければいけませんね。

**ヘーゼルトン：**日本は話の前後関係や脈絡を非常に重視する社会ですから、意思疎通の方法はオーストラリアと根本的に異なります。ほとんどの人は、同じ前提条件から話を始めます。そして上下関係が重要視されます。みずほ銀行のオーストラリア支店で働いていた時は約50人のスタッフがいましたが、少なくとも20カ国の異なる国籍を持つ人がいました。東京の本店では、1つのビルに5,000人が働いていましたが、ほとんど全員が日本

人でした。

オーストラリアのような多文化の環境においては、よりオープンな考えを持ち、無意識な偏見や複雑な人間関係、価値観の違いを意識する必要があります。人の話をよく聞くこと、周りをよく見渡すこと、学ぶこと、先入観に基づく仮定から距離を置くこと、自分の仮説を疑う柔軟性などが求められます。私はいつも「他人の靴を履くこと」と他人に寛大であることを心掛けています。例えば、誰かが意地の悪い態度を取ってきた場合、「彼らは私にではなく、何かほかのことに腹を立てているのだ。問題は彼らの内面にある」と考えるようにしているのです。

**作野:** ダイバーシティやジェンダーの平等という側面では、日本とオーストラリアの違いについて考えを聞かせてください。

**ヘーゼルトン:** 両国ともに、この分野での改善の余地は大きいと思います。職場のダイバーシティやインクルージョンを認識しているという側面において、オーストラリアは社会的な理由だけではなく、経済的な生産性という面でも、より成熟していると思います。そうしたメッセージを日本にもっと伝えることができれば、本質的なビジネスや人事の戦略として認識されるようになるでしょう。

昨年東京で開かれたJABCCとAJBCCの合同会議では、経済協力開発機構(OECD)加盟国の女性経営者の比率について話し合われました。日本の女性経営者比率はOECDでも指折りの最低水準にあり、しかも過去20年の間にほとんど変化していません。もちろん、改善している企業の例もありますが、ダイバーシティとインクルージョンの本質的な価値が十分に認識されているとは言えません。

その点、オーストラリアは取締役会のレベルでは成功しています。女性役員の割合を投資家やステークホルダーに開示することが義務付けられており、このことがジェンダーの平等を促しています。

こうした動きは良いことではありますが、オーストラリアにおいても日本においてもまだ問題はあります。取締役会に最高レベルの女性経営者を送り込むパイプライン(ルート)が必要であり、これはまだ十分ではありません。より多様なバックグラウンドを持つ人が上級職に登用される仕組みが必要です。1つの解決策としては、取締役会の多様性に加えて、上級管理職レベルの多様性についても報告を義務付けることが挙げられます。

**作野:** ダイバーシティやジェンダー平等に関する数字を開示することは素晴らしいスタート地点になるでしょう。若い能力のある人材はそれを見て、進捗がなければ転職を選ぶかもしれません。

**ヘーゼルトン:** ビジネス界全体に影響を与える可能性があります。取引企業は「他にも選択肢がある」と考え、(多様性がより高い)他のサプライヤーやプロバイダーを探すことになるかもしれません。

**作野:** 日本の会社で初のオーストラリア人女性リーダーとして働いたことで、最も辛かった経験と、最も楽しかった経験について教えてください。

**ヘーゼルトン:** 辛かったのは、自分の思い通り敏

速に、劇的に変化を進めることができず、個人的にフラストレーションが溜まったことですね。ビジョンは素晴らしいとしても、一緒に働いている人たちや上司の考え方をを変えることは難しかったです。我慢強く攻略しなければなりませんでした。

一方、最もやりがいがあった経験は、みずほフィナンシャルグループで人事を担当していた時、ダイバーシティとインクルージョンの重要性の観点から、LGBTQ+ (性的マイノリティー) 社会と連携したことです。社内でチームを作り、みずほのTシャツを着て虹色の旗を掲げて、2017年にLGBTQ+のイベント「東京レインボープライド」で行進しました。日本のメガバンクがこのパレードで行進したのは史上初めてでした。その時、渋谷の歩道にいた観客の1人が「みずほと取引するよ」と言ってくれたのです。正しいことをしているだけではなく、ビジネスにとってもプラスになり、多様な考え方やバックグラウンドを持つ人と結びつくことは非常にやりがいのあることなのだと感じました。

**作野:** 最後に、日本とオーストラリアでキャリアを積もうとしている日豪プレスの読者にアドバイスを

お願いします。

**ヘーゼルトン:** 価値のある挑戦に立ち向かい、一生懸命働いてください。そして完璧を求めず自分に失敗する権利を与えましょう。歳を取ると自分に対する見方も変わっていきますから「自分が誰か」ということを考え続けましょう。

また、あなたとあなたのキャリアを真剣に支えてくれる人を見つけて、その人たちが周りにいる環境に身を置き、一緒に働いている人たちにとって尊敬と信頼に値する人になってください。そうすれば、チャンスは向こうからやってくるでしょう。失敗や難題は人間関係をより親密にしてくれます。恐れず立ち向かいましょう。

(12月13日、AMPシドニー・オフィスで)

より多くの写真を盛り込んだインタビュー完全版、及び英語バージョンはQRコードより。For the English version, please click on the QR code



## 豪州ビザ最新事情



清水英樹

オーストラリアQLD州弁護士。在豪30年以上。地元大学卒業後、弁護士資格を取得。フェニックス・グループCEOとして傘下にあたる「フェニックス法律事務所」、ビザ移民コンサルティング「Goオーストラリア・ビザ・コンサルタント」、交通事故ならびに労災を専門に扱う「Injury & Accident Lawyers」を運営

### 豪州ビザよもやま話

#### その1. オーストラリア市民権

毎年1月26日のオーストラリア・デーは、豪州市民権獲得者の式典が各地で催される日でもあります。今年は約2万人弱が晴れて豪州国民の仲間入りをしたそうです。さまざまな国からの移民が集まるオーストラリアでは、そのお祝いの仕方も多種多様。昨今、オーストラリア・デー自体の祝日の在り方が議論されているようですが、何れともあれ豪州市民権を得た方々、おめでとうございます！

#### その2. アルバニー首相のやる気

就任以降、最初の連邦予算で5万7,600万豪ドルの追加予算を内務省に計上し、溜まりに溜まっているビザ申請、難民保護センターの運営の円滑化を図ろうとしているアルバニー首相ですが、豪州の労働市場の人手不足を解消するため、かなり力を入れているようです。

その1つとして追加予算による移民局局員の追加雇用、ビザ審査期間の短縮化がされており、少しずつですがその効果は出始めているようです。コロナ禍にあった2021年と比べると22年の段階でビザ申請数が4倍近くの200万件に上り、まだまだ増加が見込まれるビザ申請に対して、どこまで対応できるか注目です。

#### その3. 医療及び教育関連優先

年末に「Ministerial Direction No 100 (閣僚指令100号)」が発令されました。これは医療及び教育関連の人材不足を補うための策として、その業種に関連するビザ申請の審査を最優先するというものです。これにより、関連職種においてスキル・ビザやスポンサー・ビザなどを申請する際は、これまでより早い審査が期待できるでしょう。

#### その4. 労働条件緩和措置の終了とパンデミック・ビザ

現在、学生ビザ及びワーキング・ホリデー・ビザにおける労働条件が緩和されていますが、その条件緩和も今年の6月末をもって終了となります。これらの条件緩和はコロナ禍による国境封鎖によって外国人労働者を確保できずに起こった人手不足が背景にあります。同様に特別に導入されていたサブクラス408パンデミック・ビザもあります。現時点ではその申請を規制するという発表はされていませんが、他のビザの労働条件緩和が取り消されるにつれ、パンデミック・ビザ自体もその運命が今後どうなるか分からない状況です。



# PHOENIX

LAW & ASSOCIATES フェニックス法律事務所

## 在豪歴30年以上の信頼と実績

個人並びに法人の様々なニーズに専門家が対応いたします。



#### 取り扱い案件例

- 商業案件各種
- 交通事故
- 傷害賠償手続き
- 労働災害
- ビジネス売買
- M&A案件
- 国際取引契約手続き
- 各種民事訴訟・裁判
- 家庭法 (離婚・財産分与・親権)
- 遺言状・相続計画
- 雇用関連・不当解雇
- 各種ビザ、移住コンサルティング、AAT調停、市民権

📍 Level 16 300 Adelaide Street, Brisbane QLD 4000

☎ +61 7 3180 0908

📞 +61 7 3319 6131

✉ info@phoenix-law.com.au

日本語でお気軽にご相談ください。(日本語直通番号:0478 012 409)

## NSW州立美術館の本館が更に魅力的に!



Installation view of the Grand Courts at the Art Gallery of New South Wales, December 2021, photo © Art Gallery of New South Wales, Jenni Carter

Art  
Gallery  
NSW

### Art Gallery of NSW

ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館。常設展入場無料。本連載は美術館の日本語ボランティアガイドが担当。  
「件名: Japanese Tour」でEメールでの日本語での問い合わせ可。Web: [www.artgallery.nsw.gov.au](http://www.artgallery.nsw.gov.au)  
Email: [volunteerg@ag.nsw.gov.au](mailto:volunteerg@ag.nsw.gov.au)

昨年12月3日に開館したNSW州立美術館の新館はご覧になりましたか? 今回は新館に加え、更に充実して魅力的になった本館のご案内です。

最初にご紹介したいのは、本館の正面入り口に入ってすぐ右手にある「グランド・コート」です。今回行われた化粧直しでは、19世紀の作品を中心にテーマごとに展示、更に現代アート、とりわけアボリジナル・アートも含めて並置することにより、新しい観点・視点から作品がお楽しみ頂けます。

例えば、日本の現代芸術家・森村泰昌の作品「Mother (Judith II)」をヨーロッパの巨匠たち、ブーシェ、ブロンズイーノの手による肖像画と見比べたり、オーストラリアの風景画を環境汚染や自然破壊の観点から見るといった、美術館のキュレーターが投げ掛けてくる、それこそ謎解きのような醍醐味もあります。

また、エントランス・ホールを挟んで向かい側にある「20世紀美術ギャラリー」では、国内外の作品を一堂に、アート・ムーブメントの流れの中で見出すことができます。本館地下3階には、新装し充実した図書館(子ども図書館も併設)もあります。今年で40周年を迎える「ARTEXPRESS 2023」は5月7日まで開催中。こちらもお見逃しなく。

#### 【日本語ツアーのお知らせ】

- ・新館ツアー(2月)、集合:新館Welcome Plaza、日時:日1PM、金11AM、無料、予約不要
- ・新館ツアー(3・4月)、集合:新館Welcome Plaza、日時:日1PM、無料、予約不要
- ・本館ハイライト・ツアー(3・4月)、集合:本館Information Desk、日時:金11AM、無料、予約不要

column  
学び

福島先生の  
人生日々勉強



### 教育専門家: 福島 延子

教育相談及び、海外帰国子女指導を主に手掛ける。1992年に来豪。社会に奉仕する創造的な人間を育てることを使命とした私塾『福島塾』を開き、シドニーを中心に指導を行う。2005年より拠点を日本へ移し、広く国内外の教育指導を行い、オーストラリア在住者への情報提供やカウンセリング指導も継続中

## 作法の心

人は生きていくために多くのことを学びながら育ちます。第1に、命を守るため、危険を察知し回避する方法を教わります。火・ガスの扱い方や道具の安全な使い方、交通ルールなど、幼いころから親や先生に教わりながら、自分や周りの人を傷付けないように、適切な方法を身に付けていきます。

しかし、子どものころ、ことあるごとに正すように言われるのは、いわゆる「作法」ではないでしょうか。作法はなぜ大切なのでしょうか。子どもを育てる時、安全に暮らす方法を身に付けさせるだけなら、親が口うるさく作法を教え込む必要はないですよね。

おおそ家庭というものの記憶の中で、子ども時代というのは朝起きてから寝るまでずっと何かしら親から言われっぱなしです。顔の洗い方から歯磨きの仕方、お手洗いの使い方に至るまで、生活の全てにおいて作法を指導されます。あまりにしつこく注意されるので、ふくれっ面や口答えをした覚えも多々あるのではないのでしょうか。

しかし、それでも親が諦めずに子どもに教え続け、きちんとした作法の中で生活をしているうちに、自ずとその作法の心や意味を理解できるようになっていきます。

例えば、洗面であれば水をできるだけ無駄にしない、食事は食材を限りなく無駄にしない、お風呂やお手洗いは次に使用する人のために清潔にして退出するなど、作法には「大切にする」「綺麗にする」「他を想う」という心が込められています。当たり前のことのように思えるかもしれませんが、その「当たり前」が非常に難しく、難しいからこそ何度も指摘されることでもあり、当たり前のことを当たり前に行えることは非常に重要で尊いことだと思えます。

身と心は1つです。緊張すれば姿勢や表情に表れますし、ほっとすれば緩みます。逆に言えば、緊張して物事に手が付かなくても、深呼吸をして1つひとつの所作を落ち着いて行えば心の落ち着きも取り戻せるということです。

まずは身近なところから整えましょう。美姿勢で食事をしていきますか。手を止めて快く人の話を聞いているでしょうか。生活における全ての立ち居振る舞いは、自分自身の心に帰結します。靴をそろえたり、掃除をしたり、「ありがとう」と言えたり、もっと難しい「ごめんなさい」が言えたり、そんな当たり前のことをほんの少し意識して生活するだけでも心は落ち着くものです。そして、その心の落ち着きは己を律し、万物に優しくなっていくのだと思えます。



オーストラリア原産のスチール・グラスをミナヅキの花房を取り囲むように幾重にも巡らせて、葉のリズミカルな循環を意識しています

## 花のある生活 —flower in life—

Yoshimi  
いけばな作家  
Web: 7elements.me

オーストラリア・シドニーで初めていけばなのお稽古に参加した時、驚いたことがあります。ダスト・ボックスの中から、小指の爪ほどのワイヤーくずやナイロン製の物が見逃さず拾い上げられ、しっかりと分別されていることでした。

また、不要になった葉菜を土に培養する施設を備えている家庭もあり、当地は環境を守る意識が非常に高く、「大人な国」であると感じました。他国でも環境に対する配慮は行われていますが、微生物の単位で生態系を崩さないという徹底したところは、他とはギャップがあるように思われます。

私の経験の中で、日本のテレビ放送局からの依頼を受け、オーストラリアの日常生活の視点から日

本との違いを取材して、それがユーモラスに放送されたことがありました。それがきっかけとなり、NHKラジオ第1、NHKワールド・ラジオ日本からも同様の取材依頼を受けてお話したことがあります。

放送内容は食品ロスに対する環境保護に関することでした。小売店などで賞味期限間近な品物が回収され、必要とされる所へ分配される試みを取材し、多方面から環境を守る取り組みがあることにインスピレーションを受けました。花をいけることにおいても、不要なものを感じて調和が取れれば、美しいいけばなの姿を表現していけると思っています。

花一輪であっても、何らかの思いがあっていけ

られています。大地から切り取られた植物で、美しく感じるものを創ろうとするのですから、そこにいけ手の意図するものがなければ、自然の中で咲いている方が奇麗だと、私が学ぶ流儀の初代家元は言っています。ひとたび切られた草花を、自然界にある時よりも価値あるものになければ申し訳ないという気持ちで、私は花をいけるように心がけております。いけばなには、そのことを学ぶ面白さが潜んでいます。

自然から頂いた恵を、身になるように使わせて頂くことはとても大切です。与えられた物は惜しみなく使うことが望ましく、また大切にすることも忘れてはならないのだと思います。

column

スポーツ

## 日豪 フットボール 新時代



植松久隆 (タカ植松)

ライター、コラムニスト。タカの呟き「一瞬を切り取るカメラマン、一瞬のドラマを文字で表す書き手。そんな2人のコラボも面白いに違いない。今回は実現しなかったが、また機会を捉えたい。多くの興味深いショットが見られる栗原京子公式インスタグラム (ky0k0style\_photo\_) は必見」

## 瞬間

栗原京子、何度も取材現場で顔を合わす仲の彼女のカメラマンとしての主戦場はフットボール、中でも女子を熱心に追いつけている。そんな彼女の写真は、知人の鼻真目なして何かが違う。選手との距離感が近く、その表情も自然体。他のカメラマンの写真とは同じ被写体でも違って見えることすらある。気になっていた。

「それは、私が女だから」と、さり。

「やっぱり選手もお年頃だし、下手したら父親くらいの年齢の男性カメラマンにピースサインなんてしない。でも、私には飾らない姿を見せてくれる」

今やフットボール撮影がライフワークだが、本格的な写真歴は長くはない。6年ほど前、好きだった米国人選手が豪州Wリーグ(当時)に移籍、足繁くメルボルンまで通い、いちファンとして応援する選手をスタンドから撮影していた。

その後、もともと趣味だった写真を本格的に再開。身近な選手を撮り始めると、被写体となった選手たちに大いに喜ばれた。「もっと腕を上げたい」と思い始めた矢先、コロナ禍の直撃を受けて、生業のシェフの仕事を一時的に失った。それでも栗原は、突然の3カ月の休業期間をひたすら写真上達のために費やし、技術



ロア・ウィメンの試合会場には必ず彼女の姿が(本人提供)

や知識では越えられない壁は機材の違いで生み出されるとの結論を得る。そう悟るやいなや、新車1台分ほどの大枚をはたき最高の機材をそろえ、プロとしての歩みを始めた。“禍”を転じて福と為した、彼女のカメラマンとしてのキャリアはここから大きく上向く。豪女子代表の撮影依頼も舞い込み、今では国内の試合には帯同する。大目標だった女子W杯で撮影する夢も実現目前と順調だが、自分を見失うことはない。

「いつかは、Kyokoに写真を撮られたいと思われるカメラマンに」——。そんな思いを胸に、この週末もどこかで、女子フットボーラーのきらめきの瞬間をファインダーに納めているに違いない。

column

スポーツ

## 豪州ラグビー 通信

## エディ・ジョーンズ、ワラビーズHCに就任!

新年早々に、エディ・ジョーンズ氏のワラビーズ・ヘッド・コーチ(HC)就任が発表された。

同氏は、2001~05年にもワラビーズの指揮を取っており、17年ぶりに母国の代表チームに戻ることとなった。03年、豪州で行われたW杯ではワラビーズを準優勝に導き、07年大会ではテクニカル・アドバイザーとして、南アフリカ代表”スプリングボクス”の優勝に貢献。そして、15年大会では日本代表を率い、南アフリカを破る大金星「ブライトンの奇跡」で世界に衝撃を与えた名将だ。

その後はラグビー発祥国であるイングランドで初の外国人HCとなり、同国の記録となるテスト・マッチ18連勝やグラドスラムを含む3度のシックス・ネーションズ制覇、更に19年W杯準優勝という実績を重ねたが、昨年のオースタム・ネーションズでの不振により解任となった。

豪州ラグビー協会との契約は27年まで。24年ぶりに自国開催となるW杯までワラビーズの指揮を取り、併せて女子ラグビー代表”ワララーズ”にも関わっていく。目標を達成するためには、代表チームに関わる全てに対し、緻密な分析を行い徹底的に追求する。そして試合に備えては、やり残したことは何1つないというほどの準備を重ね、チームを仕上げていく手腕で知ら



17年ぶりにワラビーズを率いるエディ・ジョーンズ

れている。当然、相当の練習内容でハードワークを重ねることになり、選手たちも戦々恐々としているのではないだろうか。

まずは今年のW杯でのワラビーズの躍進にも期待したいが、25年に行われるブリティッシュ&アイリッシュ・ライオンズ戦、そして彼自身のキャリアの集大成ともなるであろう27年がとても楽しみだ。

### Sunday Footy!!

毎週日曜日(10:30~12:30)、フィッシュ・マーケット近くのウェントワース・パークでは、ラグビー好きの老若男女が集まりタッチ・ラグビーを楽しんでいます。初心者も大歓迎、皆さんぜひお気軽にご参加ください!  
Yasu 0412-553-535

### YASU

「一度きりの人生、楽しまなきゃソンソン」という感じで、好きなラグビーを楽しむため、約10年間勤務した会社を退職し来豪。ローカルのクラブで10年以上プレーし、もはやラグビーが文化として根付いているこの国から動けなくなっている。日本ももうすぐこのようになるかな? 大の犬好き

column

スポーツ

## Go! ワラビーズ in Japan



山田美千子

ラグビーに魅せられおおよそ20年。「強い時も弱い時も、ナンバー・ワンはいつでもワラビーズ!」と、自他共に認めるワラビーズ・オタク。歴代の愛犬の名前はワラビーズ選手が由来。得意なことは、ワラビーズの次世代エースを見つけること。苦手なことは、写真を撮られること

## インタビュー：マット・トゥームア選手

2009年に日本で開催された「IRBジュニア世界選手権」に、ジェームズ・スリッパー選手、ニック・ホワイト選手らがU20豪州代表として来日した時に、背番号10を背負っていたのが、マット・トゥームア選手。今季、三菱重工相模原ダイナボアーズに加入した。早速、神奈川県相模原市の練習場にお邪魔した。

「09年の来日時、『私は独身です』という日本語しか覚えていなかったけれど、今はそのフレーズは使えなくなってしまいました」と、お茶目なトゥームア選手。その当時とルックスが変わらないのではと問うと、「自分の頭にある傷を見たら、同じとは思えないでしょう。でも、ニックネームがPUPP (PUPPY) なので、(変わらないというのは)それが証拠かもしれませんね」と答えてくれた。

「日本は、すごくすてきな所だなと思っています。人も優しいし、食べ物も文化もすばらしい。辛いラーメンと焼き肉がお気に入りです。言葉にするのは難しいけど、文化や歴史に触れて、日本のことをいろいろ学んでいます。初詣にも行きましたよ」

「これまでと違った環境でプレーしたいと思っていました。自分のスタイルは日本のラグビーに合うと思うし、ランニング・ラグビーも好きで



マット・トゥームア選手 (©三菱重工相模原ダイナボアーズ)

すから。ダイナボアーズは、(リーグ・ワンのディビジョン1に)昇格したチームで、エキサイティングな挑戦ができる場所だと思ったので決めました。今、振り返ってみると、ワラビーズになったことは夢のようなこと。とても誇りに思っています。次はダイナボアーズで、良い結果を出せるように頑張っていきたいです」と力強く語ってくれた。

10年以上、応援し続けてきた彼を、息子の活躍を願う母の気持ちで見守りたいと思う。

最後に、今回の取材でお世話になった広報の白崎孝紀氏、長澤彩子氏、アナリストのジョン秋庭氏、通訳のピクン・ダグラス氏に心より御礼申し上げます。

column

リビング

## タスマニア巡り



稲田正人

タスマニアのツアー・ガイド/コーディネーター。タスマニア大学で動物学・環境学を学んだ後、のんびりゆったりした生活感に魅せられ、そのままタスマニアに在住。現在は現地旅行会社AJPR (Web: www.ajpr.com.au) に勤務する傍ら、多過ぎる趣味に追われる日々を満喫中

## 第21回

## 夏の終わりに歩くスリー・ケープス・トラック

3月に入ればタスマニアの夏は終わりに近づき、秋模様に。今回はそんな中を歩くスリー・ケープス・トラックをご紹介します。

タスマン国立公園内に2015年末にオープンした約50キロのトレッキング・コースは、州の新アトラクションとして国内外から多くのハイカーを集めている注目のトラック。3泊4日を掛けて世界遺産ポート・アーサー監獄跡地からフォーテスキュー・ベイに抜ける道中、その名の通りタスマン半島に突き出すラウール、ピラー、ホウイの3つの岬を望むコースです。

最大の特長は、粗粒玄武岩の切り立った崖の景観。途中、足のすくむような高さの崖の上からタスマン海を見下ろす絶景を何度も見ることが出来ます。海から天に向かって真っすぐにそそり立つ崖の高さは最高300メートル! 世界で最も高い玄武岩の断崖絶壁からの展望は、他では味わうことはできません。

また、初日のスタートが船という点もユニーク。トラックはポート・アーサー監獄跡地からボートで対岸のデンマンズ・コーブに渡る場所から始まるので、ポート・アーサー周辺をクルーズした後ようやくスタートとなるのです。

トラック自体は2日目のアーサーズ・ピークや4日目のマウント・フォーテスキューを除けば、ほ



海拔300メートルのピラー岬とタスマン島

ぼフラットに整備されているため歩きやすく、難易度は中の下。最終日、健脚であればホウイ岬突端までの往復にも挑戦を。3度のアップダウンの先に望むタスマン海はまた格別です。

真新しい山小屋には48人まで宿泊可。ウッドデッキや望遠鏡も付いており、広々と快適に過ごせます。シーズン中にはレンジャーが常駐し、安心。ただしこのトラックは定員予約制。バスを取得していないと入れないので要注意です。また、スタート/ゴール地点までの移動手段はバスか車を考えないといけません。とは言え、そんな苦勞が吹き飛ばすほどのすばらしい景観が待っています。まだ日が長く、歩きやすい気候の3、4月、ぜひともチャレンジを。



## 第67回 2人のゴードン、ゴードン・リザーブ公園



詩人アダム・リンゼイ・ゴードンの銅像

メルボルンCBDスプリング通りにある州議事堂と旧財務省ビルの間にゴードン・リザーブ公園があり、詩人のアダム・リンゼイ・ゴードンと英国軍人のチャールズ・ゴードンの銅像が立っている。

アダムは、エリザベス女王やダイアナ妃がスピーチに引用するほど英国で知られた詩人である。英国の詩人オスカー・ワイルドは、アダムは英国民族の中で最も優れた詩人の1人であると称賛し、作家のコナン・ドイルもアダムの詩をたたえている。1934年、アダムの胸像がロンドン、ウェストミンスター寺院の詩人広場に建立された。唯一の豪州人である。

アダムは英国東部で競馬が盛んなチェルトナムに1833年に生まれ、20歳の時に豪州SAに単身、移民した。チェルトナムで乗馬に親しんでいたの、ペノーラやマウント・ガンビアで騎馬警官、調教師、競馬の騎手などで生計を立てた。ペノーラでは聖人マリー・マキロップの恩師であるジュリアン・ウッズ神父に出会って、詩を作り始めた。

競馬は英国や豪州では上流階級のスポーツや娯楽であり、紳士的でスマートな騎手としてアダムは人気を集め、多くのパトロンがサポートするようになった。ペノーラの富豪で、クナワラ・ワイン地区の創始者であるジョン・リドックもパトロ

ンであり、アダムはリドックの豪邸ヤラムに長逗留し、詩作にふけた。そのころ、シドニーやメルボルンの新聞に多くの詩を寄稿している。

アダムは、競馬で何度か落馬し、体調を壊したためビクトリアへ移転したが、メルボルンでは、アダムの詩が酷評され、やむなくバララットに滞在した。その後、70年にメルボルンのセント・キルダで、失意の中で自ら命を絶った。没後数十年してアダムの名声は特にメルボルンで、「天才」「国家的詩人」として高まった。アダムの銅像は、市民の寄付により1932年に建立された。

チャールズ・ゴードンは、英国の軍人で、アヘン戦争時代の中国で将軍として活躍した後、1885年にスーダンのハルツームで反乱軍によって部隊共に全滅された。

チャールズは豪州には来たことがないが、英国や豪州でも非常に人気が高い将軍であり、89年の銅像建立には市民から多くの寄付が集まり、オープニング・セレモニーには8000人が集まった。英国にはチャールズの銅像は多数、建立されている。アダムとチャールズに親類関係はないが、共に1833年に英国で生まれ、王立軍事学校時代は同級生であり、ゴードン・リザーブ公園で顕彰されている。



チャールズ・ジョージ・ゴードン将軍の銅像



アダムが滞在したバララットのクレイグ・ホテル

# 出倉秀男の日本料理と歩んだ豪州滞在記

オーストラリアでの日本食の変遷を辿る

其の伍拾七

日本の飲食業界の動き



2022年、日本で食団連（日本飲食団体連合会）が本格的にスタートしました。

20年からのコロナ禍によるさまざまな混乱の中で、外食産業はメディアでも取り上げられた通り、とても大きな打撃を受けました。そのような状況下で、東京・大阪を中心としたレストランのオーナー・シェフや外食産業の企業経営者らが集結し、状況の改善を内閣府へ懇願。政府、与野党、自治体への協力を強く要望すると共に、政策提言がなされました。

更に21年6月、飲食に関わる18団体が「外食破壊寸前、事業者の声」と題した記者会見を開催。現状を訴えると、大きな反響を呼びました。そしてこの会見をきっかけとし、緊急事態宣言解除に伴い、条件付きでの酒類の販売が可能になることとなりました。

非常時において強力な結束力が発揮された一連の活動が、業界の希望となったことを受け、同年12月22日、一般社団法人として食団連の設立へとつながりました。

食団連の初期会長には服部学園理事の服部幸應氏、理事には米田肇氏、里井真由美氏、副会長には村田吉弘氏、佐藤祐久氏、山下春幸氏が就任。その他、理事・監事・事務局として飲食業界の著名人が名を連ねており、会員団体、オフィシャル・パートナーとしてキックコマンも参加しています。

食団連は、外食産業に関わるあらゆる人たちの生の声に耳を傾けながら、共に食文化を未来へとつなぎ、食産業の発展、食に関わる従事者の社会的地位向上に寄与することを活動の目的にしています。コロナ禍で大きな打撃を負った外食産業従事者にとっては、何と心強いことではないでしょうか。

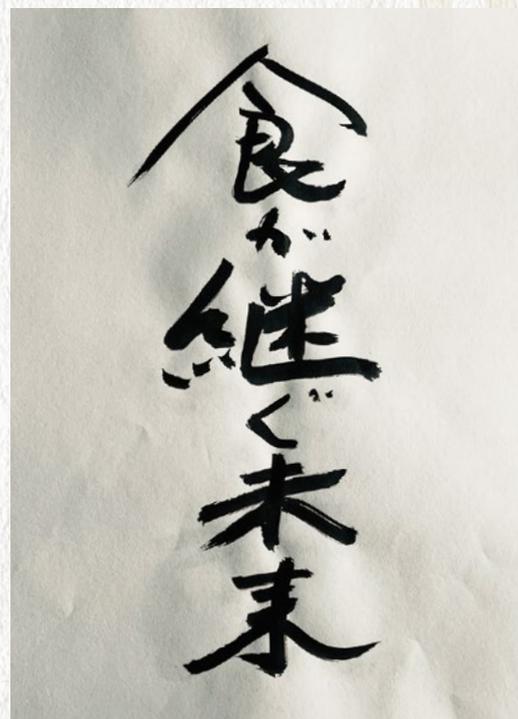
今後、「食団連」の活動が、外食産業の活性化につながり、そのことで食文化が豊かになり、国民生活も豊かになっていく、そんな大きな助力となると信じています。

さて、和食という伝統の味を継承し、新たな可能性を求めて活動する公益社団法人「日本料理研究会」という団体があります。

会員の日本料理技術の向上と更なる研究のために、厳選した調理師（日本料理研究会師範）による月例の料理展示会、料理講習会や、技術を競い合う「全国日本料理コンクール」などを開催。また、機関紙「月刊日本料理」の刊行にも携わっています。

1930年設立時の初代会長は三宅洋子女史でした。2022年にはその御子息の三宅健介氏が会長に就任されています。

今後も「伝統を大切に、そしてこれからの日本料



理を考える」をテーマに、日本料理の普及と開発に努めながら、料理人同士による技術や知識の共有を目指していく他、出版事業を始め、海外での料理人リクルート・ビジネスや、料理学校の開設・提携なども行いながら、料理人の社会的向上にもつなげていくこととです。

三宅健介氏は、17年に農林水産省から日本食普及特別親善大使にも任命されており、「日本料理研究会」の国内外での活動が期待されています。その活動の中で、海外の外国人シェフが日本料理の調理師技能検定をオンラインで受講できるサービスを開始したと聞きます。このサービスも近い将来、本格的にオーストラリアにも上陸することでしょう。

このように、日本から生まれた動きが、我々オーストラリアのシェフたち（日本料理だけに限らず）によるグローバルな視点から見た活躍につながり、確かなサイクルとなって実っていくことを願って止みません。

2023年は、興味深い年になりそうです。

■食団連Web: [shokudanren.jp](http://shokudanren.jp)  
■日本料理研究会Web: [www.nihonryori-ken.or.jp](http://www.nihonryori-ken.or.jp)  
■Certification of Cooking Skills for Japanese cuisine in Foreign Countries  
Web: [japanese-cookingcert.com](http://japanese-cookingcert.com)

出倉秀男（憲秀）

料理研究家。英文による日本料理の著者、Fine Arts of Japanese Cooking, Encyclopaedia of Japanese Cuisine, Japanese Cooking at Home, Essentially Japanese他著書多数。Japanese Functions of Sydney代表。Culinary Studio Dekura代表。外務省大臣賞、農林水産大臣賞受賞。シドニー四條真流師範、四條司家師範、全国技能士連盟師範、日本食普及親善大使。2021年春の叙勲で日本国より旭日双光章を受章





ちょっと肌寒くなってきた季節に袷(あわせ)の紬でお出掛け

気軽に楽しむ紬の着物



きもの日和

Styling vintage kimono  
in Melbourne

Wardrobe: Kazari + Ziguzagu (W: kazari.com.au)  
Stylist: Sala Okabe (W: salaokabe.com)  
Photographer: Rina Kakioka (W: rinasmilephotography.com)  
Model: MJ instagram: @mj.babe

着物というと、どうしても振袖など晴れの日に着る非日常着をイメージしてしまいがちですが、和服の世界では紬と呼ばれる、デニムのワンピースのように、カジュアルなお出掛けに最適な物があります。

紬とは紬糸で織られた絹織物のことで、蚕(まゆ)から紡いで、よりを掛けて丈夫な糸に仕上げた織った物です。ほっこりとした素朴な風合いなので、気負うことなく普段の洋服感覚で気軽に楽しめます。

紬の歴史はその昔、養蚕農家が商品にできなかった難のある繭糸の真綿を紡いで、自分たちの着る物を織っていました。それゆえ、あくまでもフォー

マルな場所では着られない普段着扱いではありますが、気の遠くなるようなたくさんの手作業の工程から、独特の光沢とハリのある生地が生まれます。現在はその伝統技術が高く評価され、多くの着物愛好家に親しまれています。

今回のコーディネートは山吹色とライトグリーンの軽やかな色合いの紬に、ポイント柄が可愛い白地の名古屋帯を合わせました。半衿も素材感を合わせた刺繍衿を持って来ると、白衿の時よりもずっと着物のおしゃれ上級者感が出ます。同じトーンと合わせたピアスも合わせれば、さわやかな紬の普

段着着物コーデの完成です。現代の普段着物では洋服感覚でイヤリングを合わせたり、自分なりのおしゃれを楽しむ人が増えています。

着物デビューしたいけれどいきなり礼装は難しいかな?と思う人でも、紬ならちょっと敷居が低くなるかもしれませんね。

**Sala Okabe**

着物の着付け、スタイリング、着物レンタル及び販売をする着物スタイリスト。インスタグラムなどで新しい着物スタイルの提案や海外で着物を楽しむアイデアを紹介している。Instagram: @kimono\_salaokabe

オーストラリアの最新ニュースを日本語で読もう!

日豪プレスが運営する、オーストラリア生活情報サイト | NICHIGO PRESS ONLINE

[nichigopress.jp](http://nichigopress.jp)

新型コロナウイルス情報など日々変わりゆく  
豪州の「今」を「NICHIGO PRESS ONLINE」で学ぼう!

広告・記事掲載のご希望・お問い合わせは [npsales@nichigo.com.au](mailto:npsales@nichigo.com.au) まで





Travel experience  
in Japan

Vol.5



EXPLORING A NEW  
DESTINATION STEEPED  
IN HISTORY

# GIFU

Words and Photography: Kazuya Baba

This time around, we'll be shining a light on a place largely unfamiliar to our fan base—Gifu. Readers will most likely associate regions we have covered, such as Hokkaido, Nagano, and Niigata, as renowned snow destinations in Japan. However, residents of Osaka, Kyoto, Nagoya, and other areas of western Japan are likely to have deep connections with Gifu when it comes to snow. Gifu is situated next to Nagano prefecture in a deep inland mountainous area. While its location makes for excellent snow, it remains fairly unknown to international visitors due to the lack of outward marketing as the place to go for snow. This makes it a hidden gem just waiting to be uncovered.

## Closing photo gallery

I will be telling you all about the wonders of Gifu through this closing feature alongside the collection of photos I took on my visit there during the 2020 season. The photos were taken while I was based in three locations: Gujo Hachiman, which is a mere stone's throw away from Nagoya (the third largest city in Japan after Tokyo and Osaka); Hida Takayama, which is a popular tourist destination where old townscapes of Japan can be seen; and the UNESCO World Heritage Site of Shirakawa-go.

# Gujo Hachiman

A waterside town at the base of a mountain. Home of the famous Gujo Odori



1. A historical Japanese townscape filled with old and wonderful charms.
2. Gujo is a riverside town known for its pure and beautiful water.
3. The retro-feel of the redroofed *sakaya* (Japanese liquor shop) wonderfully oozes with history.
4. Gujo Hachiman Castle looks beautiful in snowy winters as well.
5. Gujo is known for its Gujo Odori, a muchloved dance with over 400 years of history. The custom of dancing on end throughout the town can be seen from July to September.



1. Takayama Jinya is the only surviving government headquarters from the Edo period. Head over in the morning to stroll through the markets held at the plaza in front of the gate there every day. 2. One of the big three morning markets in Japan—Miyagawa Morning Market. Well worth rising early for a visit. 3. Honokidaira Ski Resort is located approximately 40-minutes away from Takayama. This undiscovered gem offers the best powder snow experience in all of Gifu owing to its high altitude. 4. Takayama is also famous for its ramen and “Takayama-style” ramen is known across Japan. This particular ramen is from Mامتengu, a long-established popular ramen restaurant. This is a must-visit restaurant for ramen lovers.

## Hida Takayama

Streets filled with Edo-period history and culture; mountains bursting with snow activities

Endless hours can be spent simply strolling around the old streets and visiting the shops here.



# Shirakawa-go

Thatched roof houses: a typical building technique in snowy regions  
Beautiful winter wonderlands in this World Heritage Site



The night-view of Shirakawa-go from the observation deck.

### Vol. 7 - What is *Hinamatsuri* (雛祭り)?



#### Girl's festival

*Hinamatsuri* is an annual event to celebrate and pray for the health, prosperity and happiness of girls on the 3rd of March. *Hina* (雛) comes from the word *O-hina-sama* (お雛様) meaning a lady doll. It is also a transition phase of seasons when peach trees are in full bloom, and this event is also called *Momo-no-sekku* (桃の節句), peach season.

#### History

An ancient ritual in China says that you can stay well if you purify your body in the river in this time of the year. When this ritual came to Japan during the *Nara-jidai* (奈良時代 710-794), a human shape, *Hitogata* (人形) made of grass or straw was used to transfer any malicious disease or omen from children, especially from girls, casting away *Hitogata* to the river or sea.

In those days, the infant mortality rate was high and parents who wished for their

children's health adopted this ritual. Since the *Edo-jidai* (江戸時代 1600-1867) when hardly any insurrections occurred and infant mortality rates were relatively lower, people started to display various types of *Hina-ningyō* (雛人形) dolls, to celebrate children growing up.

People began believing that when their daughters marry, they can make *Hina-ningyō* as a sacrifice to absorb all the bad omen or luck throughout their married life, so the dolls became an important item of dowry.

#### *Hina-ningyō*

As it became a popular item, especially for women, *Hina-ningyō* became elaborate and luxurious. It was no longer a pair of male and female figures, but various kinds of figures were placed on staircase-like structures, for instance three, five and even seven steps.

On the top step, *O-dairi-sama* (お内裏様) and *O-hina-sama* (お雛様) which are

designated as *Tennō* (天皇) and *Kōgō* (皇后), Emperor and Empress, mostly wear formal attire of the *Heian-jidai* (平安時代 794-1192).

Nowadays, simpler and smaller types of *Hina-ningyō* are more common because of the smaller space in modern Japanese houses.

#### Food and drink at *Hinamatsuri*

*Chirashi-zushi* (ちらし寿司), scattered sushi, is a popular dish at *Hinamatsuri*. It consists of vinegared rice with some vegetables, thinly sliced egg omelettes and some seafood scattered on top.

*Hishimochi* (菱餅) is another popular food. From its namesake, *Hishigata* (菱形), sweet diamond-shaped rice cakes of three different colours – pink, green and white – are popular with children.

One cannot forget *Hina-arare* (雛あられ) either, sweetened and colourful popped rice. Last but not least, *Amazake* (甘酒), a sweet drink made from fermented rice, is a children's favourite at *Hinamatsuri*.

Chairperson	作野善教	Yoshinori Sakuno
CEO/Editor in Chief	馬場一哉	Kazuya Baba
Art Director	脇村淳子	Junko Wakimura
Editors	石井ゆり子	Yuriko Ishii
	原田 稔	Tadasu Harada
	阿部慶太郎	Keitaro Abe (Intern)
Translator	アイダ・ヴァン	Ida Van
Sales & Marketing	田代明日香	Asuka Tashiro
	遠藤みどり	Midori Endo
	石田茉緒	Mao Ishida (Intern)
Digital Marketing	クラークさと子	Satoko Clarke
	ジョイ・ハンセン	Joy Hansen (Intern)
Accountant	ローズ・シェン	Rose Shen

NICHIGO PRESSについて

1977年10月、豪州初の邦字新聞として発行を開始。2017年、日豪の架け橋としての功績を讃えられ、日本国政府より「外務大臣表彰」を授与される。コロナ禍において、半年間の休刊を余儀なくされたが20年10月、新運営会社「日豪プレス・メディア・グループ」の元、フルカラーの雑誌として再創刊を果たした。



Since 1977

電子版のダウンロードはこちらから ▶ [nichigopress.jp](http://nichigopress.jp)

Nichigo Press Media Group Pty Ltd

広告掲載、配送に関するお問い合わせはこちらまで  
(Please contact us for inquiries about advertisements and delivery)  
npsales@nichigo.com.au

本誌へのご意見・ご要望はこちらまで  
(If you have any requests and opinions, please contact us below)  
npsyd@nichigo.com.au

郵便事情により、配達日が遅れることがございます。ご了承ください。

<おことわり>NICHIGO PRESSは、掲載記事の正確性に万全を期していますが、掲載後にデータや情報に変更の可能性があることをご了承ください。また、広告、社外寄稿者の記事に関しては、内容が必ずしも社の見解を反映したものではないことをご断りいたします。なお、掲載記事、写真、図版の無断転載を禁じます。掲載される広告内容は連邦公正取引法（1974年）及びニュー・サウス・ウェールズ州公正取引法（1987年）、著作権法（1968年）及びこれらの法律に類似する法律の規定に違反するものではないことを条件にしていますが、広告の内容や信ぴょう性に関する責任は負いかねますのでご了承ください。

編集後記

現在、日豪プレスのオフィスでは日本から訪れた7人の大学生が机を並べている。彼らは、日豪プレスの業務を体験する「メディア体験プログラム」の一環で来豪。自分自身の名前をメディアに残し、就職活動時にはそれを「名刺代わり」に使えるメリットがあり、参加学生の満足度も高く、コロナ以前から好評を博しているプログラムだ。今回は3大学から同時受け入れ、かつ、それぞれ期間やプログラム内容が異なるため、アレンジにかなり苦労しているが、実はこのプログラム、僕は結構気に入っている。学生にとってはいきなりのプレゼンテーション、英語でのインタビューなど、なかなかハードな内容で、大体において多くの学生が最初はとまどい、頼りなさげに見える。しかし、プログラム終盤になると実に頼もしく成長し、発言も積極的に行うようになるのだ。若者の成長に寄与しているという実感は僕にとっても大きなやりがいとなっている。彼らが将来どのように社会で活躍していくのか。そんなことを考えながら、学生たちと共に机に向かい、本稿を執筆している次第。日豪プレスのウェブサイト ([nichigopress.jp](http://nichigopress.jp)) 上には既に学生たちの作った記事が掲載されているはずだ。ぜひ探して読んでみてほしい。

(馬場)

日本政府による新型コロナウイルスの水際対策の大幅な緩和が行われてから数カ月余り経ち、京都などの人気観光地を始め、国内各地では訪日外国人の姿が目立つようになった。世界各国では脱マスクの動きが進む中、いまだ屋外でもマスクを着用している日本人の姿は、彼らにどのように映っているのだろうか。政府はマスクの着用について、3月13日から屋内・屋外を問わず個人の判断に委ねる方針を決定したが、花粉症対策も相まって、マスク姿の人びとが街から消えることは、まだ先のように感じる。

(石井)

幸いシドニーは今年、ここ数年の夏に比べると晴れの日が非常に多く、夏らしい気候が続いている。逆にここ数年のシドニーの夏は、雨が多すぎて異常だったとも言えるが……。自分はこの日本の夏とは全く異なる、シドニーの(例年の)夏が大好きだ。コロナ禍が明け、観光や留学、ワーキング・ホリデーなどでシドニーを訪れた人たちにとっては「シドニーは過ごしやすい気候だ」と思うだろう。気が付けば、2023年もすでに2カ月が過ぎた。去りゆく夏をもう少し楽しみたいところだ。

(阿部)

「NICHIGO PRESS」定期購読のお知らせ

NICHIGO PRESSを毎月ご自宅までお届けします!

NICHIGO PRESSはデジタルでもお楽しみ頂けますが、上質な購読体験を提供すべくページをめくる際の質感など紙質にもこだわっております。ぜひ、この機会に誌面の定期購読をご検討頂けましたら幸いです。

お申し込み方法 NICHIGO PRESS定期購読お申し込みはこちらから ▶ [Web: nichigopress.jp/subscriptions](http://Web:nichigopress.jp/subscriptions)

購読料 オーストラリア国内: 12回分\$110、6回分\$66  
日本国内: 12回分\$380、6回分\$190



お問い合わせは、日豪プレスまでお気軽にどうぞ。  
Email: [npsales@nichigo.com.au](mailto:npsales@nichigo.com.au)

中小ビジネスに特化  
**WEB集客 & コンサルティング サービス**

SINCLAIR web design

ウェブマーケティング  
オンラインセミナー開催中

毎月第2・第4週  
火曜: 11:00 - 12:00  
木曜: 21:00 - 22:00

シンクレアウェブデザイン

[sinclair-d.com](http://sinclair-d.com)  
[@sinclair\\_web](https://twitter.com/sinclair_web)  
[youtube.com/@Sinclair-d](https://youtube.com/@Sinclair-d)

オーストラリアの最新ニュース、イベント情報を  
**Facebook**でフォローしよう!

[www.facebook.com/NICHIGOPRESS](http://www.facebook.com/NICHIGOPRESS)  
Facebook内「NICHIGOPRESS」で検索!



日豪プレスのFacebookでああなたの事業を紹介してみませんか?

幅広い層の方々へ効果的なアピールが期待できます。フォロワー数1万3000人以上!  
広告掲載のお問い合わせは、[npsales@nichigo.com.au](mailto:npsales@nichigo.com.au)まで

オプションツアー・ミールクーポン  
 送迎・各種チケットのお申込みは  
 JTB オーストラリアへ



- 1 ★JTB スペシャル★シドニー 鱈屋レストラン  
 豪州旬のこだわり食材のコースが\$5オフ!
- 2 真っ白の砂浜で人気のジャービスベイでのドルフィンクルーズ  
 大人1名の料金で大人2名参加可能!
- 3 ローカルに人気! 家族で楽しめるシンビオ野生動物園  
 入場券をご購入のお客様にカンガルーの餌をプレゼント!



日豪プレスを見た方はさらに  
**お得!**

詳細は  
 こちらから



JTB はサステナブルな活動で環境・地域・人々をつなぐ・つなげる 未来へと  
 JTB Australia Pty Ltd・Level 18, 456 Kent St, Sydney 2000・Phone: 02-9510-0139



オーストラリアに暮らす日本人必携の  
**医療保険**  
 豪州一時滞在者専用 メディパック

メディパックの特徴は…

- 日本人にとって頻度が高い歯科治療、メガネ関連のカバーが充実
- ご予算とニーズに合わせて複数のプランをご用意
- 他のオーストラリア民間医療保険からの切り替え特典あり

Aon Risk Services Australia Limited

お問い合わせは 関口、斉藤 まで

TEL: (02) 9253-7075

(日本語直通)

E-mail: au.jis@aon.com

www.aon.com.au



4500AONR

東京での不動産物件は、  
**叶屋不動産へ!!**



- 土地・マンションの売買
- 不動産物件の管理
- 不動産相続のコンサルタント



かんのうや  
 叶屋不動産株式会社

代表: 板屋雅博 携帯: 81-80-4419-1510

所在地: 東京都千代田区神田神保町1-38 森ビル

電話: 81-3-3518-9545 Fax: 81-3-3518-9546

Email: info@kano-ya.biz Web: kano-ya.biz

7935KANO



住宅の売買ならモトにおまかせ下さい。

100年以上の実績・信頼のある老舗のレイホワイテで  
 30年の経験があるモト・ウォーターズが皆様のご要望  
 にあった最適物件の売買のお手伝いをします

**Gold Coastの不動産に  
 関してはお任せ下さい**

経験豊富なモトまでご一報下さい  
 お問い合わせ: +61-414-760-682 まで

**Ray White**

The Surfers Paradise Group

Ray White Surfers Paradise Group

Level 2, 50 Cavill, Surfers Paradise 4217, QLD

TEL: (07) 5538 1555 Email: m.waters@rwsp.net

3434RAYW



kikkoman®

Over 300  
**YEARS**  
in the Making

